

日本の初体験

2017.09.19

学校:

うちの学校は国際学校ですから、帰国子女が多くて、生徒たちがとても明るいだと感じました。ただし、国際化のせいで、みんなは留学生に対しての興味が失ってしまい、非常に情熱を示さませんでした。この一週間で、私はいつも席の中で座ってぼんやりして、クラスメートは喋るのを見るだけでした。同期生の高校生活は言うまでもなく、現実と自分の予想の差が激しいでした。一瞬に、心を悩まし、涙が出るほど唇を噛み締めて耐えました。「これはただ一週間目ですが、希望が絶たれてしまい、今後はどうしたらいいですか」と考えました。その後、自分は省み、「みんなは私に話しかけないんですから、では私は勇気を奮って、自発的に友達を作るのに越したことはありません。」と考えました。今もできるだけ先方に挨拶して、一步踏み出しようとします。

授業:

先生と生徒たちは関係がよく、真面目な話をしゃかすこともあります。生徒たちは授業を受けている状態も両極化の傾向があります。よくよくと勉強する人もいますが、だんだん眠くなり、だらける人もいます。授業中で水を飲むといい、雑談するといい、先生が叱らなく、本当にびっくりしました。そして、科目にかかわらず、授業が終わった後、プリントと感想文を書くべきです。中国と違うところは、重要ではない科目にしても、みんなは真面目に宿題をします。

カリキュラム:

最も難しい科目は情報だと思います。コンピュータの用語がとても多いからこそ、授業中で辞書を引かなければ意味が全然分かりません。

大体難しいぐらいの国語は現代文と古典に分けられ、以前勉強している日本語に比べて、雲泥の差があります。現代文の長さが1級の長文の3、4倍になり、古典は動詞の活用を説明しています。

数学はとても簡単で、内容も少ないです。中国で同じ内容を勉強したことがあるとあって、先生の質問を答え、褒められる時に、ちょっと恥ずかしいと感じました。

それに、この学校の特徴といえば、英語の授業がたくさんあり、ディベートとディスカッションが多い、西洋化のような教え方が上手だと考えました。でも、友達がたまに日本語と英語を交わし使えば困っています。

私は文系生で、地学が中国で勉強したこと�이ありませんから、今後はきっと力を入れて頑張ります。

友達:

初めての日で、私は3人と友達になりました。彼女たちに色々なことを聞いたり、昼に一緒に弁当を食べたり、心が温まります。隣の男の子も優しくて、古典の授業を何度も説明してくれました。今後もより多くの友達を作りたいです。

部活:

以前にもずっとボラン部に入るつもりですが、部活に見学した後、断念しました。なぜなら、先輩の指示はいっぱいありますから、聞くだけだったら非常に難しいと思います。

来週も色々な部活を体験することができますから、早く自分に似合うことを見つけたいです。

ホストファミリー:

ホストファミリーはお母さん、お父さん、お兄ちゃん、フィンランドからの留学生ニーナと私、5人がいます。みんなは仲間がよく、お互いに关心して、助け合って、とても幸せな家族です。お母さんとお父さんは私を優しく扱い、気を利かせ、夕食を共にする時に学校での出来事を語ります。お父さんは物知り屋で、自学して中国語を勉強して、今も3級を取りました。お母さんは私のストレスを解消するために、色々なことを教えてくれました。そして私の弁当を用意するように、毎朝早く起きなければなりません。そんな素敵なおせなんて、本当にありがとうございます。ニーナはアニメが大好きで、8年間日本語を勉強し、日本語がペラペラです。彼女は自分の夢を叶えるために、一人で走り続けて努力し、本当に心がけました。

ホストファミリーは学校に遠い、行きが1時半ぐらいかかり、帰りが2時間さえかかる場合もあります。毎日に歩く、バス、電車、私鉄で通学することを体験した後、自分は思ったよりそんな勇ましくないと発見しました。月曜日と水曜日は方法を知らないまま、色々な問題があり、電車を乗り間違えるとか、駅で迷うとか、乗り過ごすことがあります。埼京線の通勤ラッシュ電車で込み合うことと、夜に一人で歩くことははっきりしたコントラストがあります。1年間ずっとこんな大変な生活を我慢するしかないですが、だんだん慣れるかもしれません。

現実を直視しなければ、人間は変わりません。この道は自分で選んだ道なので、これから確実に一步一步に歩んで行くしかないです。できるだけ早く適応して、毎日の生活を楽しみたいと思います。



. I .



. II .



. III .





把日文投稿翻译中文的文章

浅草日帰り旅行

2017.09.20

東京の観光名所といえば、東京タワーやスカイツリーと並んで、浅草・浅草寺が上がるでしょう。東京の下町の風情が残っていて、日本の誇るべき美しい建造物で、外国人にも大人気の場所です。そして、徐々に“吉”的おみくじの配分を増やしていた各社寺に対して、浅草寺はその配分を変えないため、世間から大注目を浴びています。先週の土曜日に、甥ちゃんと甥ちゃんのホストファミリーと一緒に、着物を着てみて、浅草寺に行きました。

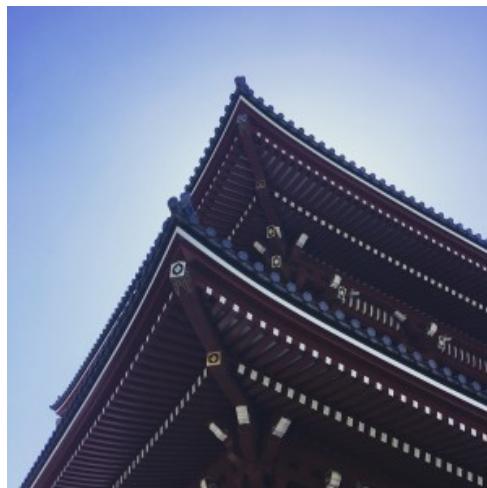
六年前、私は日本へ来たばかり、着物姿を見て「きれいだな~」と思いました。中国で浴衣を着るのを体験したことがありましたけど、ずっと着方が難しいの着物を着たいです。着物を体験する店に行き、好きな着物を選びました。どうやって着るのか全然わかりませんでしたから、店員が手伝ってくれて、腰のところに帯やひもを何回も結びました。でも歩く時に落ちるかどうかずっと心配して、そして暑いですから、着物を着たまま歩くのは非常に大変だと感じました。甥ちゃんと一緒にたくさんの写真を撮られて、本当に嬉しかったです。

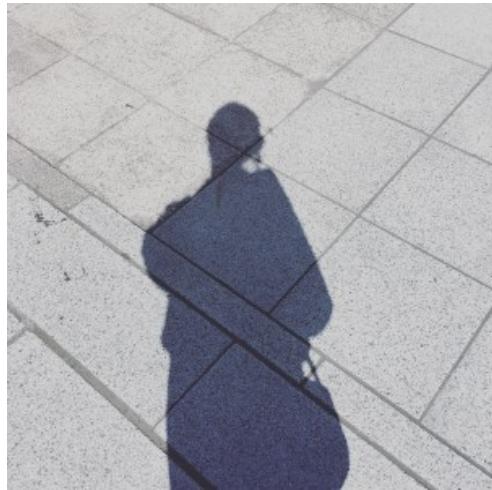
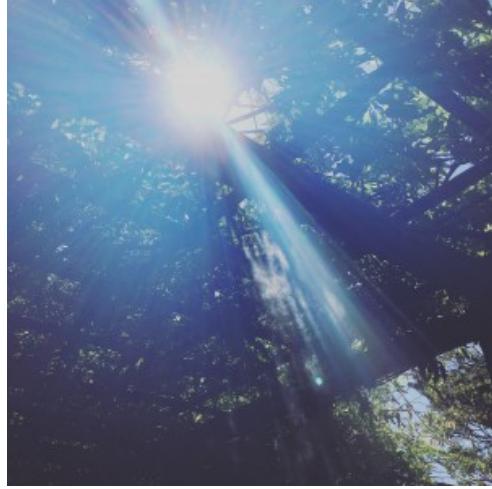
浅草駅に着くと、なんかものすごく賑わっています。雷門を見て、雷門から観音堂前に続く商店街(仲見世)通りで、浅草の有名なお菓子などをいただくことが出来ます。色合いが似ていますから、どこか京都の八坂神社前の商店街を思い出します。

私もおみくじをとりましたけど、凶が出ました。その後、「ご縁つなぎ、凶を取り残し」の意味として、おみくじ紙は鉄の棒に結びました。昼ご飯はそばの名店で海苔そばを食べました。午後初のあんみつを食べて、とても美味しかったです。

この1日間、甥ちゃんと学校とかホムスティーとかの体験をよく交流して、互いに励ました。「接受」「適応」「享受」3つの階段を経り、あらゆる苦難に耐え、自分は成長できるはずです。今後はコンディションを調整してみて、現実に即して計画を立てたいです。

最後は、誘いをかける甥ちゃんと甥ちゃんのファミリーの皆様に、感謝を申し上げます。機会があれば、私はお持て成したいと思います~✿✿✿





把日文投稿翻译中文的文章

文化祭

2017.10.08

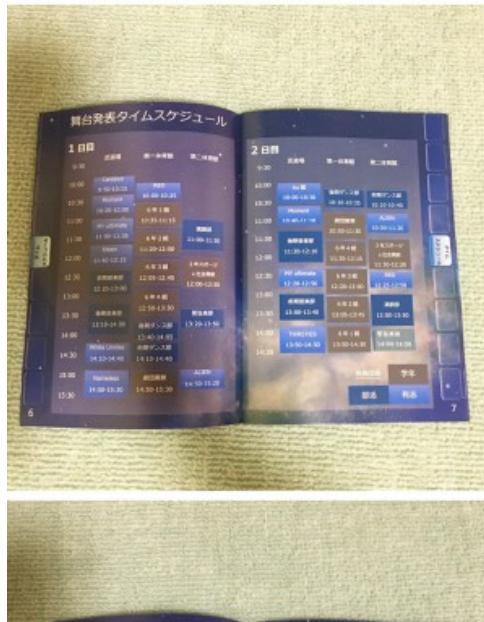
日本の文化祭と中国の文化祭は本質的な違いがあります。中国の文化祭は「舞台展示」の意味で、舞台に出た人達が歌を歌いながら踊ったり、劇をしたり、観客が盛りあがって拍手を送ることです。文化祭の成功は一部分の人だけ関係し、ほとんどの人が文化祭を見て、僅か2時間の展示を楽しんだまでです。ところが、日本では、生徒達は2日間のためにクラス企画はクラス一丸となり、有志で募集したバンド企画はたくさんの練習を重ねてきます。また、各部活での企画では各部員の絆を深めるものとなります。

生徒達はなかなか趣味の豊かな人で、何人分もの能力があります。私のクラスは2つのバンドを作り、歌い手、ギター、キーボード、ドラムを含んでいます。5-6首歌を歌って、感情をこもっていることは、人気歌手のようなライブだと感じました。ダンス部は30分の間に休まずに力を尽くして踊り狂って、私の心をしっかりと揺り動かせました。彼女たちは誇りを持つ笑顔が一番可愛いだと思います！水泳部のシンクロはりっぱであるとして褒められるべきです。室外気温が摂氏20度まで下がりますが、みんなは風の寒さなど気にしないで、きびきびした動作をして、華々しく最後の表現を飾るものです。

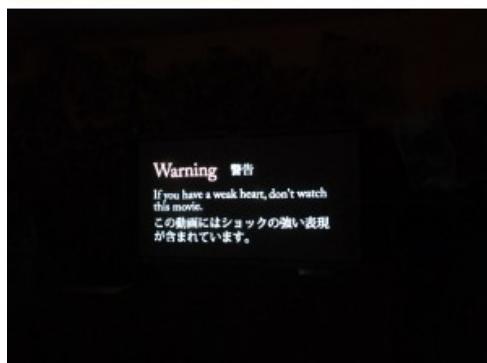
私は学年のプログラム(お化け屋敷)の中で、1時間半の間に鬼を装いました。実は気が弱いですから、些細なことも怖がって、ピクピクしたこともありますが、仕事のために、恐怖感を克服して熱心に働いていました。最初に人を驚かす時、自分の心に深く恥じるんだけど、だんだん慣れてきて、お化けを楽しんでいました。でも本意ならず子供達を泣かせて、申し訳ございません！

演劇といい、お化け屋敷といい、どんな活動でも、私はそんな高いレベルに達した人達に関心しました。なぜかというと、みんなは心がけのおかけで、団結力と責任感を結び合うことです。文化祭を準備する時に、みんなはより良い文化祭をめざすために、責任を共にして、互いに相手を助けます。何もせずに怠けたまま、ぶらぶらとしている人をあまり見せません。文化祭が終わった後、掃除は1時間だけかかる、教室を当初の状態に還元しました。こんなことは生徒会の経験がある私に対して、想像し難いです。「その差はいったいどこにあるんでしょうか」ということをよく考えました。中国人は自分の責任を持つのは当たり前の話だが、この当たり前のこと、まったくやってない人が多いです。要するに、みんなは休みを当たり前にやり、当たり前に他人と同じで、自分の責任を逃れようとします。最終責任者である自分自身なのに、自分を否定せずに他に嫁しまる、逃げの思考になってしまいます。反対に、日本人は自分に厳しく、自分を制することができます。要するに、外からドアを私たちが開くことはできませんから、私達は内側から自分でドアを開いて出ていかなければなりません。自分の欠点を直して、怠けないまま責任を尽くした方がいいと思います。

どうかすると、最初に私は古い習慣などに従うばかりで、それを一向に改めようとしません。血気盛りの若者と一緒に遊ぶ時に、どうすればいいか全然わからないで、友達を真似て、名前を呼び上げて応援して、大喜びに会場で跳ね回りました。青春の血をわかし、陽気に騒ぎ、何もかも私の夢のようです。中国ずっと学業にいそしんで、興味を持っているんだけど、特長を生かすことができません。今度日本に留学して、私も他人とことなった特徴が育てたいです。今度の文化祭の体験に感謝を申し上げ、私は色々な事を徹底的に考えさせてくれました！













暇つぶし「1」

2017.10.17

この間に東京周りのあちらこちらに行きました。心の悩みを忘れようと努めるために、友達と話したり、色々な観光地で遊んだりしました。

9/30 東京あちこち

江さん、張くんと一緒に秋葉原、明治神宮、新宿、原宿に行きました。方向音痴として、案内役の張くんのおかげで、1日間本当に楽しく過ごしました。時間があまりないので、どこでもざっと見るだけで、観光というよりむしろ散歩といったほうがいいです。(歩数15000以上XD)

日本のポップカルチャーについて語るとき、秋葉原の存在を抜きにはできません。海外でこそ秋葉原電気街として知られるようになり、道で歩いている時は、隣の人々から外国語をよく聞きつけます。(特に観光客含む中国勢がけっこう多いです...)SFやマンガ、アニメなどを趣味とするが多く、立派なビルの三階に細々と店を開いて、マンガとか同人誌とかを販売しています。そして、お宅さんはゲーム機を買うために百人以上の列を並んできて、びっくりしました。3人はセガでガシャポンをやったり、クレーンゲームをしたり(なんでも取られないけど)、子供時代の回想にふけました。私はアニメが好きではないですが、ただ短い間に体験してみて、「日本の世界に誇れるもの」というアニメ文化の理解を深めました。この後、他の日記で日本の漫画・アニメ文化に対する考え方を書きたいと思います。

秋葉原に行った後、明治神宮に突然行きたくなり、参拝してきました。修復工事中ですが、亭亭たる老樹の木陰で夕涼みをしながら、砂利を踏みしめながら、本殿へと歩みを進めて行くうちに、心身共に淨らかなものへと純化されて行くを感じました。そして心の衝動は、歴史と緑と、最先端の科学と文化の大都会・東京で、神社に囲まれて暮らしている日常です。その古代と現代の対立関係ですが、東京のハーモニーが非常に美しいと思います。

明治神宮でどんなことを祈ったと言ったら、「世界平和」、私は願ってやみません。ホストファミリーと政治に関する話題になった時、世の中の急変に対して自分の無力を意識したら、最後に必ず「平和」の観点で一致しました。一人一人が平和を願うことが近づく道だと思います。

10/1 ゆつの初デート

ゆつ(クラスメート)と一緒に池袋へ遊んで行きました。中国で日本の番組を見た時、何時も動画を興味深くみていて、今日はボウリングの初体験でした! 簡単には真似などできず、ボールはあっちに行ったりこっちに行ったりと定まらず、非常に難しいだと実感しました。しかしやっているうちにだんだんスコアがアップしてきました。指が痛くなったりして大変ですが、本当に嬉しかったです! 昼ごはんの時、ゆつと気に合いましたから、よく喋りました。小さな一步を恐れるときは、大きな一步を踏み出すときで、今後もたくさん友達を作るために、明るく他人と交流したほうがよくて、今の友達を大切にするのも重要です!

10/8 こうのす花火大会

ホストファミリーと江さんと一緒に、鴻巣市の花火大会を見に行きました。花火大会といえば、日本を代表する夏の風物詩で、今度は秋の最後回ですが、尺玉がゆったりと優雅に開いて、しとやかな仕上がりを楽しんでいました。残念ながら、着物も着ないことだけでした。

ジャケットを着ていても、肌に少し冷たさを感じて、お母さんのキムパプを食べた後、体が暖かくなると共に、気持が安まりました。

花火は豪快で繊細で優美で、色彩の移り変わりがいいだと感じました。サントラと相まって、日本花火の魅力が全開で、やっぱり音楽によって玉の表情が変わるように思えるのも面白いです。堂々とした曲のモチーフにあわせて、印象深く開いてはスッと消えていきますが、私はこんな珍しい場面をけっして忘れませんでした!

万人ぐらい見た花火大会が終わった後、みんなは自分のゴミを包んで、ゴミ置き場に連れて行って、芝生が前の綺麗な状態に戻しました。日本人の環境保護意識は私に感心させました!

10/9 横浜・中華街

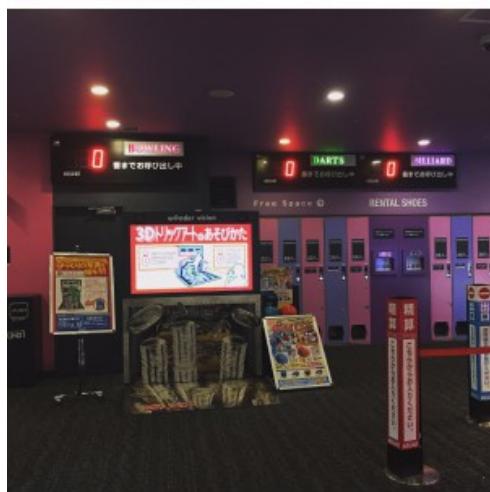
江さん、張くん、張くんのクラスメート(フランスから留学生)と一緒に、横浜・元町中華街に行きました。私は世界のいくつかの中華街に行ったことがありましたが、横浜の中華街はちょっと変わっていました。日本文化にも取り込まれていて、中国風の生活習慣があるが、中華風と日本風が入り混じっていることを感じました。

様々な種類のカラフルな門の後ろに中華街が続いており、たくさんの魅力的な飲食店や寺社で構成されています。故郷のような印象的な風景を記憶に残すために、写真を何枚か撮りました。今日ここに来たときは、上海小籠包や肉まんのためにいくつかのレストランの前に行列ができていました。また北京ダックを出す高級レストランもあります。

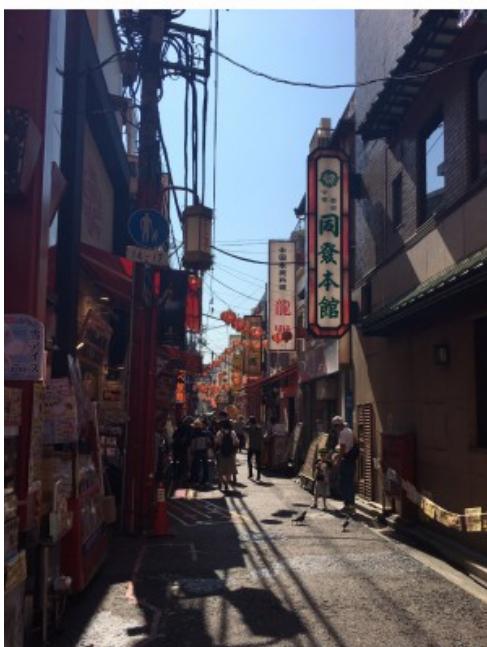
今日のお昼は小さな北方中華料理店で食べることにしました。メニューからマーボー豆腐のセットを選びました。日本人向けの味付けみたいでしたが、全部とても美味しい、良い風味と食感でした!

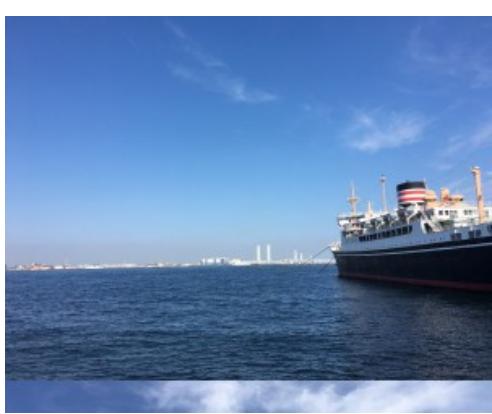
「一葉落ちて天下の秋を知る」という俗語のように、今の朝夕はだいぶ涼しくなってきました。先週に風邪を引いてから熱を出て、学校を休ませてくれると願い出ました。ホストファミリーと先生達はご面倒をかけて、申し訳ございませんでした! 先生方と同期生たち、病気をならないように、寒い時に重ね着て、体を気をつけますね~















ここは、埼京だ。

2017.10.25

埼玉県と東京都を総称して、埼京ということです。学校は東京都で、ホストファミリーの家は埼玉県で、毎日埼京線と西武線を使って通学します。

大都市的飛躍を遂げる東京ですが、毎日が競争のようで、東京の人たちは日々鍛えられています。会社員は多くて、洋服を着て革靴を履く人々がよく見えます。いつでも電車はダイエットをできそうなくらい感じて、ちなみに電車に立つ技術でも圧倒的な差を感じました。埼京線は池袋到着後にある程度空いていますが、私はあいにく池袋で乗り換えます。ただし、電車での移動がとても便利で、都会的な落ち着いた雰囲気です。

もちろん、年収が高くて、生活に余裕がある人であれば悩むことなく、都内の中心に住んだ方が良いでしょう。上京した人たちも「やっぱり都内がいい！」と思うかもしれません、都内に近い埼玉県で住むの方が幸せだと思います。

埼玉は歩道がゆったりしていて、人が都内より多くないです。高層ビルがなくて、煙があったりするので、空がとてもきれいです。秋が近付いてきたので、虫の声がします。リンリンリンという声を、夜聞きながら寝るのも気持ちがいいです。中国で身近なところに自然がない場所だと、物足りなさを感じてしまう私は、やはり埼玉暮らしの方に向いているのだと思います。都会には何でもそろっていて便利だけど、埼玉ではその分金銭では得難い自然があるし、都会では絶対に手に入らない空気があります。そして季節ごとに変わって、自然を通り抜けてきた風を感じることはできます。いつもホストファミリーがお世話になってくれて、とても親切な感じが覚えさせられました。一緒にご飯を作ったり、雑談したり、知らない間に時間が経つのは早いものです。

都会はその分ストレスが溜まるようになっています。通勤時などはラッシュが激しいし、職場なども忙しく時間に追われることが多いです。生活のリズムが速すぎ、終始知らない地点はどこにあるかもしれません。でも、なかなかうまく行かないのが人生です。うまく行かない時を頑張って越えますから、成長していきます。今は生活を楽しむの時期わけではありません。ただ大都市で、何らかのストレスを受けて、進む力があるに違いません。

つまり、精神的に心の底から満足しているかといわれると、私は首をひねってしまいます。若い頃には都市で努力して、経験と知識を豊富にして、お年寄りの時にのんびりした生活を送りたいです。

なしくずし的に物事を進めるのではなく、迂遠の空談ではなく、まず計画を立てたいと思いま——す：

2年後(大学に入るとき)東京都と、ぜひ再会しましょう。

(最後まで書いて、話が脱線することを意識しました。気に入るところがとても多いですが、以上述べたことは、特定の場所だけではなく、全体的に東京都・埼玉県のありさまを紹介しました。できるだけもう一回日記を書きたいと思います。申し訳ございません...)







把日文投稿翻译中文的文章

留学中の目標

2017.10.25

やりたい事をしっかりと定めておくことで、時間を無駄にすることなく、とても有意義な留学経験を持ちたいです。では、私の目標について一言したいと思います。

・ホームステイ体験:

できるだけ家事の手伝いをして、迷惑をかけない

家族全員とよく交流して、一生ものの繋がりを作る

・学校:

授業で何度も手を挙げて発言する

クラスメートと友達になる

学校の様々な活動には必ず参加する

将来役に立たない科目も真面目に勉強する

学校で習ったことはたまに復習する

・日本語:

怖がらなくて、積極的に他人と交流する

知らない単語に出会ったら辞書を引いて、ノートにメモしておく

よく日記を書いて、日本語でLINEでチャットする

新聞とメディアから情報を得る(大体理解できることを目指す)

・その他:

ボランティア活動をする

友達と旅行する

食べたことのない日本料理とお菓子を食べてみる(笑笑)

・人生の次のステップに向けた行動:

出会った人たちと体験したことに感謝の念を送る

知見を広め、世界との違いを肌で触れておく

中国について考えるきっかけになる

将来に進学したい学校を見つける

TOEFLなど必要な条件を満たすべく勉強する

留学生入試試験の科目を重視する

目標というのは、実現できなかったら、意味がありません。夢を迎えて、今後も一所懸命頑張りたいと思います!

把日文投稿翻译中文的文章

埼玉大学に行った感想

2017.11.07

毎日通うバス停から降りると、すぐ近くは埼玉大学ですけど、2ヶ月間ぐらい校庭で歩くことがありません。週末に埼玉大学で、第68回むすめ祭を行うことのきっかけで、埼玉大学を参観しました。(残念ながら、良いタイミングを外してしまい、なんでもイベントを参加できませんでした)各学部を回ってみて、実際に日本の大学の雰囲気や施設、周囲の環境なども良くわかりました。

キャンパスはとても広くて、歩くのが大変だけど、緑に囲まれてる自然な感じの校舎はすごく綺麗です。広大な敷地を誇り、実習室などが整う各学科棟が整然と配置されました。専門分野に特化した施設、最新の研究設備も充実しています。廊下に歩いて、教室から先生の声が聞こえ、ガラス越しにセミナーの様子も見えます。休憩や自習室としての雑誌や本学のパンフレットなども置いてあります。自習スペースとしても使える図書館は平日21時まで利用ができる、授業の収録映像を館内のパソコンで見ることも可能です。高校との入試向けの雰囲気が全然違い、大学は我々の個性を発揮させるというところで、学生食堂は平時でも学生のコミュニケーションスペースで、陽気な大学生たちは友人と雑談したり笑ったりして、とても賑やかだと感じました。

高校の事だけでなく、その先の大学についても、よく実感をもって考えることのできた日でした。高校も大学も生活の中心が学業だということに変わりはないと思いますが、その取り組み方に違いがあるようです。大学では、「自由な分、責任がある」ということを強調して言われています。どう充実に大学の生活を送るのか、授業を聞かない人の影響を受けないのか、我々の人生の中で1つの課題であるに違いません。大学の時間割は良いように言えば、選択の自由があります。授業に出ず、宿題をやらなくても、咎められることはできません。先生は授業をした後ずっと教務室でいて、問題があれば先生に聞くしかなくて、連絡事項は毎階の掲示板に張っています。

今回の体験をきっかけに、改めて自分の将来について考えさせて、自分が後悔しない様な選択をしようと思いました。今後は他の大学の文化祭やオープンキャンパスなどを積極的に参加して、常に挑戦的な気概を持って、向上心を出させて、気に入りの大学に入ろうと思います。







把日文投稿翻译中文的文章

知而行也，行而知之——写在前面

2017.11.21

这段时间以来苦于日语能力受限，且不想辜负学校担当老师的期待，硬着头皮用蹩脚的日语去叙写生活点滴。可太多想表达的心情，非母语绝词不达意。所以思前想后，下定决心开了这个不定期更新的专栏——

“知而行也，行而知之”。

知而行也。六年前走马观花的旅行，今年二月的富山交换访学，以及四年来的日语学习经历，日本这个国度，积藏着我所有童年的向往与渴望。在与父母一次次的争执与交涉中，我愈加明晰了值得奋斗终身的方向。力排众议、坚守初心、收获了父母的理解与支持，最终如愿以偿。“知”，知日本所有，知自己所无，于是有了这次心连心的梦想指南与行动目标。

行而知之。知是行的主意，行是知的功夫。从不倦的实践、无穷的探索获得真知、切思笃行：留心身边日常，尝试新鲜事物，直面生活困难。知识的增长，基于教科书与汗水辛劳；心灵的成长，基于走过的路、到过的地方和遇见的人。

两者互补相足，即为王守仁所倡导的心学的最高境界——**知行合一**。摒弃程朱理学之偏，反对知先行后之嫌，日本留学之中的所见所闻，均会触发我的所思所感。边体验，充实心灵；边实践，学以致用。

但距离是美感的防腐剂，当近距离接触日本时，这个国度庄容的面纱被尽悉撕毁，我得以一睹其真实的模样。同样，这个机会隐含着来自正负两方的挑战：可能会因为新的发现而对日本更添好感；或是受到与固有观念的冲击而郁郁寡欢。诚然人无完人，多元的文化也分优劣。只有将自己置于一个公平公正的视界上，排斥个人情感因素，立足在对方的立场思考问题——这才是留学生活中国际理解教育的内涵所在。

在这里两个多月的收获与成长绝非时间可以度量。目睹到的一切，激起心灵翻涌，久久不能平息。但也只有在键盘上敲击文字、大脑飞速运转时，我才会捡拾起近乎遗忘的思维脉络并——将其梳理清晰。依托于这种神奇的工具，我得以在此将这些感情的激荡与你们一同分享。语言未必精炼，思想略显稚嫩，还望各位多多海涵。欢迎评论讨论，笑纳任何批评与吐槽。

暇つぶし「2」(11月定例日記--週末の過ごし方)

2017.11.21

11/3 国立科学博物館

ホストファミリーのお母さん、ニーナと一緒に国立科学博物館に行きました。休日に無料で館内に行けますから、ものすごい人で賑わっていました。予めお弁当を持ってきましたので、外で食べた後入館できました。

常設展として日本館、地球館で展示物を楽しむことができます。あまりに広すぎて、地球館しか見ることができませんでしたが、地球館についていろいろ紹介したいと思います。

3Fで、力強く生きていたときのさまざまな哺乳類と鳥類は、剥製として作るとなると、その魅力を称えます。これだけの質と量の標本を見ることができるのは印象的だと思います。非常に手が行き届いててまさに生きているようです。

2Fで日本で外国から文化や技術などを受け続けながら科学を歩んできたことを紹介して、過去の大きな器械と模型も一緒に展示されています。地震観測を体験できる機械とか、特に科学技術を体感できる展示が多くて、とても楽しかったです。

1Fで「地球の多様な生き物たち」を主題にして、現存する動物、植物の剥製が数多く展示されています。デジタルテックを利用してから、生態系のとおりに分けて、生物はお互いに深くかかわりあって生きている姿や生活環境や生活様式などを伝えてあげると言うことです。顔よりも大きな松ぼっくりの実に驚きました。

B1Fで多くの恐竜の化石があるのでじっくり観察することができます。思いきりに楽しむことができる場所です。個人的な興味度に合うからこそ、数枚の写真を撮りました。

広大な宇宙、それを構成する物質、これらを支配する物理法則を知ることは、すべての科学的認識の基礎です。国立科学博物館に参観した後、私の視野を広げ、科学に対する関心を高め、理解を深めてもらいました。機会があれば、皆さんぜひ一回参観して欲しいと思います。

11/12 埼玉国際マラソン

今日私と江さん、そしてホストファミリーのニーナと一緒にボランティアで埼玉国際マラソンに参加しました。今回の大会はオリンピックや世界選手権の代表レースを兼ねて、市民ランナーも応募可能です。それで、競争だけではなく、「自分のベストを挑戦する」という気持ちをもって、大会に喜びと寛ぎをもたらしました。

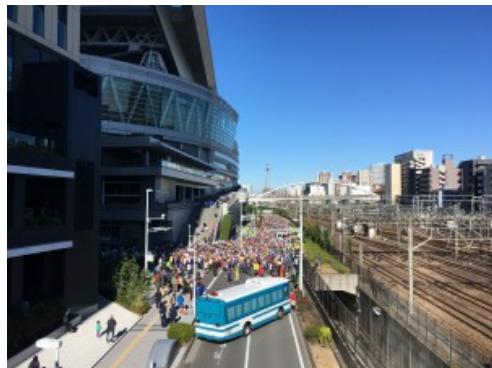
大会2週間前にボランティアに対する説明会に参加して、パンフレットとスタッフウェアを手に入れました。内容は何より詳しくて、中綴じのデザインもすっかりモダンです。「やっぱり日本人は極致を求めるように、事の大小を問わず、十分に考え抜く」と感嘆しました。

本日は天候に恵まれ、気温がちょっと低いけど、太陽がずっと照りつけていて、ランナーにとって本当にふさわしい天気でした。真面目にやっている人もいるし、仮装した人もいるし、気楽な雰囲気に包まれていました。

私は41キロのところで道路規制に協力して、沿道の声援を励まして、そして他のボランティアスタッフと支え合いました。ボランティアはが一丸になり、成功させようとする情熱をもっている集団で、何人ほどのお世話をかけました。どこに行っていいか、これはどうすればいいか、どんな簡単な問題でもいつも解いて出されました。しかも優しいおばあさんやおじいさんとよく交流できて、留学生活に対しての励ましを受けられました。テレビ放送・ラジオ放送と共に、新聞の記者や高校の新聞部がいるので、幸せなことに三人は朝日新聞の記者に取材されました。

走ることができなくても、ボランティアでイベントを参加することだけも意義があります。私はずっと前からボランティア活動が大好きで、社会と近く接する機会としてじみじみ理解しています。だが、ランナーたちが走っている時に、私も腕が鳴ってきます。体を鍛えて、マラソンを完走する能力・技術などを十分に身につけるまで繰り返し練習して、最後にマラソン大会に応募できます。遠くない先先までどうしても一回マラソン大会に参加したいから、今から目標を達成するために頑張って行きます!





把日文投稿翻译中文的文章

韓浜澤的日记

手記「1」

2017.11.22

10/31 全国模試

学校が中間テストがないから、今日は初めて真面目に受けた全科目の試験だ。この前にずっと心配しているけど、問題用紙を配ってから緊張感が消え失せた。数学は簡単だけど、学校で勉強した内容と全然合わなかった。過程を書かねばならないで、ちょっと悩まされた。英語は学校に教科書を使わなくても自分の能力で大丈夫だと言えども、前の席に男の子はインドからの帰国子女で、20分ぐらいに答え終わった。まだそんなレベルに及ばないで、やっぱり強いだと感じた。国語はできるだけ多ければ多くほど書いたけど、間違えたところばかりに違いない。半分は推量通り、半分は自分出来た通り。(全部推量通りじゃない??自信を持った答えがあまりないから...笑笑)

11/2 現代文の初テスト(大満足！！)

満点80点のテストで51点を取った。ちなみに学年平均59点。復習できる内容は大体正しかったけど、長文の方が難しいと感じた。予想外にいい成績だが、今後にプレッシャーがかかる...後は平均点を目指して頑張るぞ！

11/4 家の周りに遊び(じゃない)

午後は家で無意識にぼんやりないように、外に出た。30分歩いて、付近の公園に着いた。青空に浮いた白い雲が日の光を帯びて、ピンクと共に光っている。カラスが何羽か飛んでいた。鳴きながら空を横切っていた。気楽に散歩がてら、時が流れない感じを持っていた。染み入るような寂しさがだんだん出てきて、ホームシックという感情を抱いた。もっと耽り覚えないように本屋さんに行った。朝にホストファミリーのお母さんと話した「名前をつけ方」と「星座」についての本を読んで、日本人と中国人は運命にとって考え方の共通点を見つけた。本に熱中している時に時間の流れが意識できなかった。本屋から出た時はもう6時になつたけど、しかも小雨が降っていて、雨に濡れてついに家に着いた。帰った後お母さんから買った焼き芋を食べて、体も心も温めた。それは生活中に簡単な確実な幸せということだ。

11/13 サイエンスワーク

今日は学校のサイエンスワークのイベントで、つくば市で気象研究所と防災科学技術研究所を行った。全学年は4つの班に分かれているけど、私は第二願望の班(地質学)に配られた。1日中プレゼンを聞いたり(実は専門的な単語が多くだから、内容が大体わからなかった)(泣)、施設を参観したりして、日本で最新の科学技術と研究成果を見聞した。文系生の私にとって、あまり科学に興味が持っていないけど、色々な紹介を聞くと科学の偉さを実感した。もう文系を選んだが、理系の常識を身に付けるように、他分野の知識を勉強しなければならない、特に科学万能の時代に入ったから。

11/15 歌舞伎の初体験

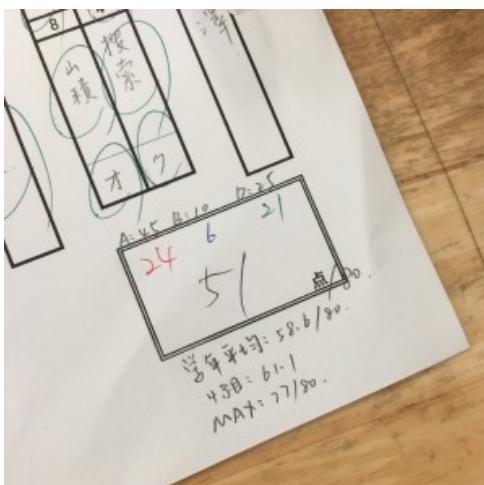
今回学校の日本文化探訪のおかげで、初めて国立劇場へ行って歌舞伎を見た。今まで歌舞伎に対して、はっきりとしたイメージがなかったが、実際に本物の歌舞伎を見て、素直におもしろかった。イヤホンから英語の解説と伴って、役者の歌詞を聞いていることは少し困ったけど、単純にそんな伝統的な雰囲気を楽しんだ。役者は長い歌詞や踊りを覚えて、動作や顔の表情で心情を表現して、立派な舞台で演じることがすごいと思う。とても派手な衣装を着た役者さん達が声をはって、体を使って物語を進めていたのでステージから遠くてもどのような物語かだいたい理解することができた。このような日本文化が、昔から今まで完璧に受け継がれていることをすごく尊敬していた。日本の素晴らしい文化を外国人としての私に伝えてもらって、本当に貴重な体験だと思う。歌舞伎だけではなく、狂言や落語などといった日本特有の文化も今後に体験してみたい！(場内に写真禁止だから写真を撮らなかった)

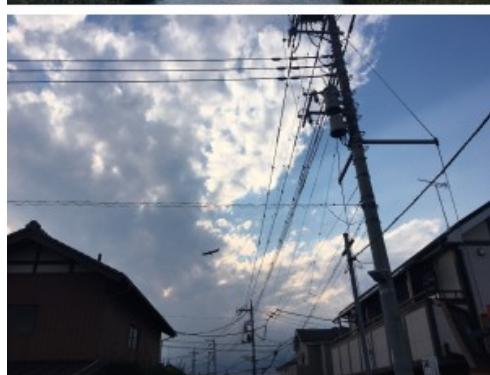
11/17 来校者に通訳した

今日マカオから来たの訪問団に通訳した。数人の中・高校生と先生たちに通訳して、しかも中国語で学校を案内してあげた。うちのクラスを通す時に、ロッカーから教科書を取り出して紹介して、この心ある行いは校長先生に褒められた。学校の一員として国際交流の先生に手伝うことができて、本当に嬉しかった！

11/17 ニーナの誕生日

今日は同じホストファミリーでお世話になったニーナの誕生日だ！私はいちごケーキを作って、ゼリーと葡萄ビスケットを買った。最高の18歳誕生日のために、そしてニーナのものなしに心を用いた。ニーナは帰った後、電気を消してキャンドルの炎がゆらゆら揺れて、ハッピーバースデーのメロディーを歌ってあげた。ニーナの笑顔を見た後、胸の膨れるような心地よさを感じて、やり甲斐があったと思う。お母さんと用意したサプライズ大一成一功！いい歳になるように、私とニーナは一緒に頑張るべきだ！











把日文投稿翻译中文的文章

暇つぶし「3」

2017.11.29

11/25 東大駒場祭

今日は江さんと張くんと東京大学駒場キャンパスの駒場祭に行きました。東大生というとガツガツに勉強ばかりしてゐる感じがしてしまいますが、文化祭に行ったらそんなことないようだと感じました。

校庭が広いため、ゆっくり見ながら一周するだけでも1時間以上かかりました。まずは外の模擬店を散策しました。メインの銀杏通りは両側にたくさんの模擬店が出ていて、ちょっとした縁日のような感じでした。模擬店は数が多くて(200以上はあるほど多い)、大半が焼きそば、牛串、フランクフルト、ポテトといった感じで、バリエーションは少なめだと思いました。値段の協定とかはないらしく、同じ牛串でも500円のところもあれば、350円のところもありました。おいしそうだけど、食べ歩きが大嫌いから食べ諦めます。当然のように各出店団体の横にごみ袋が置いてありました。見てみると、割としっかり分別されていました。

続いて正面に見える1号館に行ってみました。1号館だけでかなりの展示があるので、バンドをやったり、合唱とかもあったりしていました。バンドは普通の教室でやっていましたから、全然遮音ではなく、廊下でも音が大きすぎで、東大生たちは別のクレージー的一面を見せてくれました。

後は数多くのイベントを見に行きました。屋外ステージも何ヶ所かあって、声紋広場がなんか大騒ぎでした。先輩のアカペラのバンドに行って会えるかもしれませんと思ったら、残念ながら現場に行っても会えなかったです。

東大には多彩な集団・人材が存在しているのは間違いないし、その空間を楽しむときがきっと来るはずです。文化祭は普段に味わえない東大に、出会えるチャンスです。東大から伸びるためにこそ、高校までの生活は悔恨なく過ごしたいと思います。

11/26 「怖い絵」美術展

美術展とか展覧会とか大好きで、今日はホストファミリーのお父さんとニーナと一緒に、上野の森美術館に行って、念願の怖い絵展に見に行きました。

午後に来た時に長蛇の列がどこまでも繋がっています。人は多すぎて、美術館に入れても2時間以上をかかりました。上野の紅葉も銀杏もすごく綺麗で、並んでいる時の焦りをなんなく慰めました。会場はとにかく狭くて、激混みだったけど、興味深い絵画がたくさんあって楽しかったから、総じて並ぶ価値があったと思いますが、ちょっと懲りるくらい疲れました。

ほぼ80点の西洋絵画を展示している美術展です。視覚的な怖さだけではなく、隠れた背景や物語を読み解くことで恐怖です。それぞれの絵に解説があり音声ガイドも使ったので、絵の意味や時代背景、画家の想いを考え、想像しながら鑑賞できました。ただの1枚の絵の奥に歴史や当時の人々の喜怒哀楽、宗教観が感じられました。

一番注目作は「レディ・ジェーン・グレーの処刑」という絵で、16歳の若き女王は断頭台に散ったという物語です。解説の言う通り背景を知ってよりぐっと恐怖や悲しみなど感じた作品です。絵自体も数奇な運命を辿ってきたもので、引き込まれてしまい、やはりすごい迫力だと実感しました。

西洋の名画家ルドンの絵とモローの絵がみれたの本当にうれしかったです。美術作品として完成されていて、尚且つそこにはまだ謎があり、何だろう知りたい、ずっと見続けていたいと考えずにはいられないです。





把日文投稿翻译中文的文章

自分のストレス解消方法

2017.12.29

この前は通学の辛さが苦手な人間関係と相まいて、不快な思いを落ち込み、自分の状態に不満を抱いたものの、いい方法も知らなくてどうすることもできませんでした。ストレスが溜った結果として、体のバランスが崩れてしまい、自律神経失調や頭痛やめまいなど様々な症状を起こりました。日中交流センターの先生たち、ホストファミリーの方々、そして周りの人々に大迷惑をお掛け致しまして、申し訳ございませんでした。やはり自分の気持ちをうまくコントロールできない状態から、できるだけ早めに切り抜けられることの必要性を痛感しました。したがって、ここで自分のストレス解消方法を紹介させていただき、同じく困っている12期生に参考してみてください。

一つ目は目指すのは小さな一歩から立てる方法です。来日後はいつの間にかもはや4か月間でした。日本語が急激に上達できると思うと、実はさほど簡単ではありません。辞書を引きながらも気持ちをうまく伝わらなくて、言葉を聞き間違えた場合が結構あります。結果は期待したほどではなかったので、自分にいさか失望しています。「高すぎる要求水準」を抱えているかもしれないが、あまりにも大きなギャップのせいで心が折れてしまった私は、苦悩をいくらかでも緩和する方法を思い出しました。一歩ずつ前進し、目標に十分達成しない時はとりわけ自責しないほうがいいです。一年間の計画は大きい目標とするのであれば、一週間の目標は小さい目標になります。そして12期生の冠主銘先輩と悩みを相談する時にいいアドバイスをもらいました。「日本にいる時にきわめて多いものばかりだと思いますけど、一年間が終わってから自分の成長を振り返って、一生に一度しか経験しない財産をもらったと実感しました。」先輩の言葉を再吟味して、留学の意義を明らかにしました。決して言語力の上達だけではなく、独自に困難や挫折を味わってAQ（一般的に逆境指数と訳され、精神の強靭さやストレス耐性を示す新しい指標）を上達になったほうが重要です。したがって、我々は目下のところに得失を論じなく、できるだけ多くのチャンスをとらえて自分の最大限を発揮し、留学生活の分秒を大切にしたほうがいいと思います。

二つ目は積極的な曲を聞くと前向きに行ける方法です。東京に着いたばかりの頃、初めて「栄光の架け橋」という曲を聴きました。色々な苦しみや悲しみを乗り越えて、明るい未来へ向かっていくという内容の歌詞、何かに向かって努力を続ける人たちを応援する歌詞が心に響きます。歌詞を通じて自分の気持ちを分かち合うことで、共感を味わい、おのれを励ましてもらいます。好きな音楽に集中し、我を忘れることで負の感情の調整ができます。

三つ目は長さを問わず文を書く方法です。はじめは主観的に感情や思いを書いて、続けるうちに客観的に自分を見つめ直せるようになります。過去は変えられないけれど、将来の出来事は自分の努力次第で変えることができます。有意義な行動を起こすことで、そして気持ちを落ち着くために、文章で現状と問題点を書き説いて、自分の心を整理し、納得のいく改善策を考えていきます。

「難難汝を玉にす」という素敵な名言が大好きです。目前の困難を乗り越えたら成功が近づいています。より活発に目標に向かって動かすことができるよう、日本各地にいる第12期生の皆さん、チャットルームで苦しみと楽しみを分かち合い、助け合って頑張りましょう！

P.S.—昨日は携帯と道路仲良くキスしてしまい、携帯が壊れました。残念ながら、大体完成した「日本のクリスマス」の日記と写真は全部消え去って、投稿できなくなり、気分が苛立ってカリカリとしました。同じ内容を書き改める勇気がないので、とりあえず「自分のストレス解消方法」というテーマを選んで文章を書きました。お許しください。

誰にも見せない涙があった
人知れず流した泪があった
決して平らな道ではなかった
けれど確かに歩んで来た道だ

——「栄光の架橋」

来自网易云音乐·歌词分享

把日文投稿翻译中文的文章

日本のお正月

2018.01.04

あけましておめでとうございます！

冬休みの間に閑窓をしてしまい、短期ホームステイ先のところにお世話になっております。お正月について日記をまとめて書きました。どうぞご覧ください。

12月31日

晩御飯に手巻きを食べてから、家族全員はテレビを囲んで紅白歌合戦を見始めました。

司会の三人よりも後ろの高橋一生さんを凝視し、袴がお似合いがかっこよすぎたと思います。高橋一生さんが一番多く映っているようで、私たちを楽しませてくれたNHK、ありがとうございます。（笑笑）

松たか子が歌ってくださった「明日はどこから」という曲を聴いてから、埼玉でホストファミリーのお母さんと、土曜日の朝に一週間分の「わろてんか」の再放送を見た事を思い出しました。一緒に笑ったり、大阪弁を分からずにお母さんに聞いたりしたことは、一生の記憶に残るに値すると思います。するとお世話になったお父さんにメッセージを送って、感謝と懐かしい気持ちを伝えました。

12時過ぎて、お正月には食べようということで「年越した後そば」を食べました。家族の中でお互いに挨拶して、新たな気持ちでスタートする日ということで、気持ちを素早く切り替えました。夜1時ぐらいに中国からも色々なお祝いをもらって、友達の支えや励ましを忘れず、2018年に初志を貫きたいと思います。

1月1日

ホームステイ先のお母さんの実家に行きました。12人の大家族と一緒に元旦を過ごしました。ご飯が始まる前に、年齢順通りで自己紹介をして、お互いに知り合いました。お父さんからお年玉をもらって、家族の一員として扱ってくれることから、深い感動を受けさせました。色とりどりの重箱に、さまざまな料理をきれいに並べ、詰めているおせち料理を食べて、全員家族が満腹そうな顔をしました。初めて黒豆、数の子、昆布巻きを食べて、良い縁起も聞いてもらいました。食べ過ぎて正月に太ってしまう可能性がありますけど、しばらく考えずに、第三学期からダイエットしようと決めました。やはり食べしん坊に違いなく、いつも毎日「明日から痩せよう」という言い訳をしている人ですね。（笑笑）

お母さんの実家に出てから、鹿児島市内に行って中央駅で買い物しました。日本の初売りを実感できて、なんとか中国で11月11日にショッピングサイトで一齊に値引きセールみたい感じでした。買い物客が目当ての福袋を目指して駆け出し、大勢の人で溢れました。お母さんから「人気ブランド福袋は、開店から数分で売り切れた場合もあります」という話を聞いて、すごくびっくりしました。お得になるように、世界中誰でも欲望を抑えられないでしょう。（笑笑）

1月2日

今日は家族全員が結構疲れたから、一日中予定がなくなりました。きょうか先輩とお母さんが年賀状を書いていた姿を見て、興味を持ってきました。いろいろな質問をいただき、はっきりした答えをもらいました。

ホストファミリーは毎年心を込めて、年賀状を作成し続けています。年賀状の上で載せたキャラクターや文字などは、子供たちが自分でデザインしたものです。家族の集合写真も各自の新年の抱負も書き載せてあります。過去何年分の年賀状を見せてもらい、ものすごく趣があると感じました。そして他人から届いてもらった年賀状を楽しんで、書き手の気持ちを味わえました。新年を祝う言葉だけではなく、昨年の感謝と来年に厚情を依頼する気持ちも持つものだと思います。

現在の中国で、メールやSMSで済ましてしまい、毎年年賀状を送る人はあまりいません。人間関係がだんだん冷淡になった社会にしては、もし日本と同じで、電子メッセージを代わりにこういう手段を定着させたらどうでしょうか、私は考えずにはいられません。スクリーンを簡単にクリックして、誰にしても全く同じようなメッセージを送ることに比べて、一葉ずつの年賀状で、相手に伝いたいことを書いておいたほうがいいと思います。ずっと会えない友達に、ちょっとした心遣いで時間をかかって気持ちを伝えてほしいです。

1月3日

初詣で、お正月に初めて青井阿蘇神社に参詣しました。これから始まる一年間が良い年であるようにお祈り申し上げます。

青井阿蘇神社は、平安時代に創造された茅葺社寺であり、平成20年に国宝に指定されました。見た目は結構古い感じがありましたが、描かれた彫刻は緻密で精巧すぎて、当時の職人たちが腕によりをかけて仕上げたと実感します。

神社に入ったら、まず御手洗で手を洗いました。並んでいる時に、お参りする際の作法がお父さんから聞いてもらいました。拝殿の前には、ぶらさがっている大きな鈴が鳴らすように紐を引きました。これを神様を呼び出すためと思われています。次は「二礼二拍一礼」という挨拶の仕方通り、二回おじぎをした後、2回拍手を打って、お祈りして、最後にもう1回おじきをしました。

私は天道を信じていますから、社殿の前に立つと神さまの存在が一層身近に感じられました。厄運の御守りを買って、学校用のバックにかけました。おみくじも大吉が出て、今年めでたいことを起こりそうだと信じて、留学の実が結ぶように頑張っていきたいと思います。

昼ごはんがハンバーグを食べた後カラオケに行きました。日本に来た後の初体験で、思う存分遊びました。日本語と英語の曲を挑戦し、点数が出てこなかったけど、以前に比べてあまりよくない感じがあります。今度カラオケに行けたら90点以上を目指しますので、やはり練習しなければなりません。

ホストファミリーのお姉さんは今年大学に入るつもりで、昨日と今日はずっと箱根駅伝の中継を見ていました。学校の栄誉を讃えるために快走していた選手の姿を見て、すごく尊敬しています。結果を問わず、最後まで粘り強く選手の方々、みんなよくできました！お疲れ様でした！

そして、本年もなにとぞ、よろしくお願ひいたします！

皆様にとって、いい年でありますようにお互いに頑張りましょう。





把日文投稿翻译中文的文章

暇つぶし「3」

2018.01.29

1/14-1/15 お母さんは日本に来た!

今週中の間、お母さんが日本に来る事を思い出すと胸が踊ってたまらなかった。学校も寮も一緒に見学して、きれいで完備な環境を見てからお母さんにも安心させた。1日半にずっとホテルで止まっているけれど、たくさんの話ができる、本番の中華料理を作ってくれて、すごく楽しかった。日本語を全然話せないお母さんのために、交通機関や宿泊地や観光などを調べてみて、たくさんの人と言い合せて、いいアドバイスをもらった。緻密な計画を立てあげたことは、自分自身も大いに収穫があったのである。

1/20 日本語スピーチ大会+桜島観光

鹿児島県外国人による日本語スピーチコンテストのおかげで、今日は初めて鹿児島の花火が集まった。普通にバスで大口から鹿児島市内まで少なくとも3時間ぐらいかかるから、やっとみんなと会えてすごく楽しかった。みんなのスピーチを聞いて、日本語の興味を持つ契機や、日本高校で送っている生活など、いい内容ばかりだった。共通の悩みや困っていることを聞いて、心からすっかり分かった。最初出会った時に比べると、今私達の日本語がすごく上手になったと思う。私と同じように、日本各地で頑張っている同期生の姿を見て、もっと努力するように自らを激励した。

午後に先生に連れて桜島のフェリーを乗って観光に行った。初めて活火山を見た私にとって、言葉による感情を描き出せないぐらいパンチだった。朝は昼夜の温度差が激しかったのせいで桜島が霧に包まれて見通しがきかなかったけど、午後は晴れてから青空に噴き出している灰色の火山灰がくっきり見えた。神様からもらった自然の美しさを讃えるべき、ということはシスターから教えてもらって、動けない静物なのに生気が溢れていること、そして万物が喜怒哀楽を持つらしいことが実感できた。

近年に桜島観光の中国人の数は年々増えつつあるから、この前先生の依頼に応じて、桜島であるラーメン屋さんのために中国語のポスターを作ってあげた。印刷したポスターを引き渡すと共に、そのお店で桜島特色のあるラーメンも食べた。

また、100年前に噴火してから覆われた小さな神社に参って、過去の歴史をとっくりと共感した。献金して、地元の中学校の生徒達が収集した桜島火山灰をもらった。

いつ何時噴火が発生するかわからないので、岩漿を導き流すために水がないため川を掘った日本人は、災害を未然に防ぐという意識に感服した。最悪の自然環境に面する日本人は、現実に直面する勇気、現実を乗り越える発想、現実通りの技術開発とあって、世界の良い手本と仰がれている。万一の時のために至れり尽くせりの用意は、日本人から勉強した文化の精華だと思う。

1/21 本物フェスティバル

今日茶道部の部員と一緒に、伊佐市市民会館で開催する、伊佐市内の中高生が送る文化フェスティバル本物フェスティバルに参加した。私は茶道部の部員として茶道の呈茶をした。準備が大変だったけど、友達と喋ったり笑ったりして時間があつという間に過ぎた。高2の先輩は綺麗な動きと細やかな説明と相まって、舞台で茶道展示を披露した。1日を通して様々なことを学んで、茶道の練習の不足も実感した。これからは茶道を通しておもてなしの心、感謝する心、謙虚な心を身につけられるように、練習を励みたいと思う。中国に帰った後にも、家でもいつでも練習できるように茶道用具セットを買いたいわー

1/27 日本語スピーチ大会本選

今日、鹿児島県外国人スピーチコンテストの本選で奨励賞を取った。あまり良くない成績だったけど、この間にご指導をいただいた先生方、応援してくれる友達、大変ありがとうございました!

2週間の間、毎日の放課後、1時間以上を練習し続けた。最初は一気に長い文も話せなくて、文と文のつながりも流暢に言えなかった。単語のイントネーションや息継ぎなど、繊細な点にも気を配って何度もやり直した。学校の先生方と一緒に、素晴らしい発表を目指すように、原稿の内容について検討したり、発音を正しくしたり、大変な苦労を共にした。そして友達の意見をたたいて、たくさんのいいアドバイスを与えてもらって、友達や先輩からも心の込めたメッセージを手に入った。特にこの前のホストファミリーの方々は、お菓子と手紙のプレゼントをしてくださったり、来場して応援してくださったり、私にすごく感動させた!

今回の体験をいただき、一人で戦っていることではないと実感でき、心の支えとなる力を蓄えている。讃えた栄誉も努力した結果として、みんなのおかげで得られた成果である。また、たくさんの外国人と出会い、留学生活について交流ができ、自分にもいい勉強になった。将来の夢にまで努力がまだ足りない。志望校にふさわしい努力を積み重ねて、「絶対行ける」と言うことの自信を持つように、頑張っていきたい!

自分へのメッセージ:

いいことにせよ、悪いことにせよ、現に体験したことは私に、何が欲しいのかをはっきりと考えさせるようになりたいと思う。

必要なないことをあっさり捨てるわけだ。生活が簡単にする。人生も簡単にする。

孤軍奮闘のような勇気も、馬鹿の一つ覚えのような執念も、私はもう欠かさない。

なお積むべきなのは、自分の願い通りで生きられるために、経験の資本を蓄積することだけである。

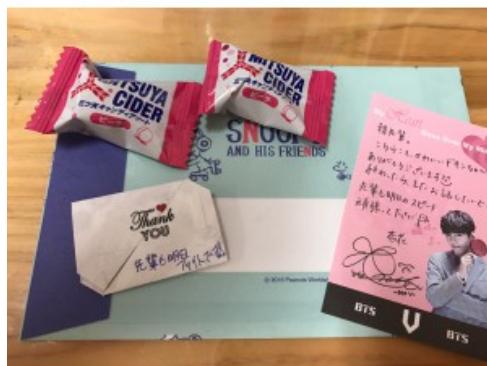
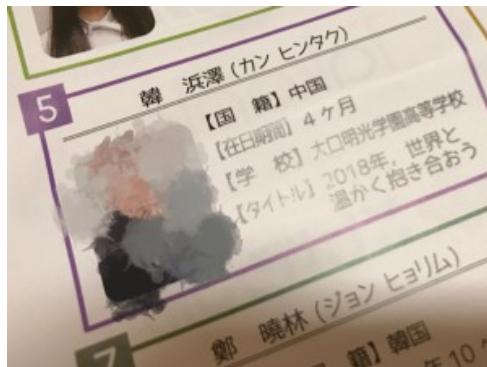
写给自己的一段话:

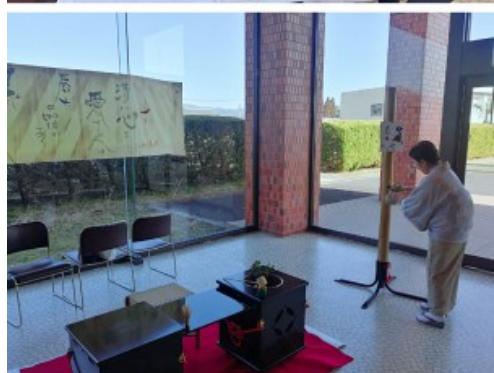
希望我遇见的全部，好的或坏的事情，都能让我愈发清楚地明白自己想要什么。

学会舍弃一些没有用的东西。生活需要简单化，人生也需要简单化。

孤军奋战的勇气，头撞南墙的执拗，我已经不缺了。

还有待积攒的，就只有按自己意愿而活所需的资本。





把日文投稿翻译中文的文章

日本のクリスマス

2018.01.29

学校のクリスマス会

他の学校行事の雰囲気とは違って、イエス・キリストの誕生を記念するための学校のクリスマス会は静かで、かつ厳かでした。来校者、先生、または生徒の皆さん、一緒に主の降誕をお祝いしました。吹奏楽部、合唱部、演劇部はクリスマスについて発表しました。毎日練習し続けた大合唱も披露しました。賛美歌や神父さんのお話は馴染みがなく、何となく調子を合わせておくだけでした。気持ちを落ち着かせて、静かに祈るときがもてました。

クラスのクリスマス会

学校のクリスマス会が終わった後、クラスで女子会を行いました。みんなはたくさんのお菓子を持って来て、雑談しながら食べました。わさびを含めているシュークリームを食べてから、息苦しくなったり咳き込んだりして、友達はげらげら笑いころげました。担当先生からも一個のケーキをもらって、量が多すぎるから、全然食べきれなかったので、一部分のお菓子は持ち帰りました。最後に滑稽なポーズをして面白い1枚目の集合写真を取りました。

クリスマスボランティア

西山先生に連れて湧水町で小学生向けのクリスマスパーティーを参加しました。子供たちと一緒に遊んだり、折り紙をしたり、お菓子を作ったりしました。4つの言語を話せる国際交流スタッフと交流できて、すごく尊敬しています。将来は身に付いた言語力を使って、世界中に各国の人と出会って、地域によって様々な文化を味わいたいです。

寮のクリスマス会

食事は大変豪華で(買ってきた弁当)、ケーキやお菓子もあり、友達と一緒に時間を忘れて談笑しました。先生から用意したプレゼントの種類もかなり豊富で、袋を開けて、お互いの中身を見せ合い、楽しく語り合っていました。

高1の寮生はアイドル系とオタク系を分け、ダンスとヲタ芸をやろうとしました。どんなダンスを踊ってもラジオ体操みたいの私は才能がないから、ヲタ芸を選びました。一週間前からヲタ芸を練習し始め、毎日筋肉痛を耐え、夜10時から12時まで一所懸命やりました。けっこう疲れましたけど、先輩や後輩に褒められて嬉しかったです。

今回の体験のおかげで、日本人の集団行動を実感します。全員が集まつたときに「やりたいこと」のアイデア出しを呼びかけて、話し合って行動していくます。うまく集団行動ができないと、ちなみにチームの足を引っ張ると、どうしても孤独を感じたり、周りから仲間外れにされたりしてしまいかちです。練習が増えすぎて圧迫されることを嫌つても、友達と一緒に行動して、ポジティブに考えたら前向きだと思います。

茶道部のクリスマス会

学期末、毎年恒例の茶道部クリスマス会が開催しました。二人は代さんが中国から持ってきたお茶を使って皆さんを持て成しました。湯の中に茶の葉を浸してじわじわと葉を蒸しました。茶道部全員は取り込んで腰を下ろし、雑談したり、お茶を飲んだり、ケーキを食べたりしました。中1の後輩達は心を込めてゲームを考えついて、ジャンケンで負けた人は早口言葉を話さないといけないです。私は不運なめぐり合わせのせいで負けましたから、早口言葉を挑戦してみて相当な成功を収めました。次はスタイルのある先生を真似し、相手がうまく当たるように一所懸命演じて、周囲を大いに楽しませていました。

ホストファミリーと過ごした週末

23日ホストファミリーに連れて鹿児島市内に行きました。都会の方は煌びやかに光り、街ではクリスマスソングが流れ始め、クリスマスの雰囲気に包まれいます。夜になると、鹿児島中央駅のイルミネーション『光の塔』を見に行きました。寒い冬でも心をほっこりしました。

24日の夜、ホストファミリー(同じクラスの友達のお家族)と一緒に最高のクリスマスイブを過ごしました! ちょうどいい機会ですから、私と代さんは腕を振るって本格の中華料理を作ってあげました。中国で人気料理——鶏手羽先のコーラ煮とトマトと卵の炒めを煮炊きました。残念ながら調理料は不足なので平素の力が発揮できなかっただけで、ホストファミリーは「めっちゃおいしいよ」と言ってくれてすごく嬉しかったです。ローストチキンとか、チョコレートケーキとか、お刺身とかむしゃむしゃ食って、お腹はいっぱいになりました。豪華でおいしい食事を準備していただいたホストファミリーのみなさん、大変感謝しております!

クリスマスをきっかけに、来年の計画を立てました——寮生活を充実に過ごし、勉強と部活動に積極的に取り組もうとします。

やっとiCloudでノートを探しました。流行遅れの投稿ですが、お許しください。





把日文投稿翻译中文的文章

手記「2」

2018.01.29

1/9-10 確認テスト

大口明光学園に来てから初めての試験で、そしてISSで勉強した教科や内容と全然違うので、よくできるかどうか緊張しそうだ。冬休み中大体遊んだばかり、全然復習できなかったことを思い出すと何度も後悔してしまった。寮に帰ってからすぐに一所懸命頑張ろう、と決めた。勉強の必要に迫られて、自分は記憶力の最大限を発揮できた。一夜漬けの試験勉強の大変さ、もう一度体験したくない。試験の結果からみると文系の教科の成績がまだ満足できない。特にカタカナの穴埋め問題は、一字一字正確に仮名を書くのが無理である。とりわけ世界史を重んじるわけだと思う。ものすごく短い第3学期に、約20日後期末試験が来るそうだから、大変なことがたくさんあると思うけど、より良い自分を挑戦する気持ちが大事! 不可能な困難を乗り越える勇気が大事! ファイト!

1/17 創作ダンス発表会

10月から3ヶ月間の間に、体育の授業と自習の時間を使って、クラスを単位として10分ぐらいの創作ダンスを練習し続けた。12月初に来たばかりの私は、ダンスの練習を積極的に参加した。最初に友達から動作を教えてもらって、後に自分で練習を積んでいた。全体的な難易度が高くて、可愛いからかっこいいに変わったのバリエーションが創造的大と思う。クラス全員は振り付けがより楽しく、より面白くなるように工夫した。最後にお祭り騒ぎを表現した退場の踊りは、観衆が腹を抱えて笑い転げてたまらなかった。先生方から思わず完璧な出来栄えだと褒められて、ものすごく誇りを感じた。また校内合唱コンテストや体育大会などがあるので、友達と一緒に最高の記憶を作るよう、一所懸命にやりたい。

1/19 校内地理基礎力テスト

地理基礎力テストは、日本の都道府県、県庁所在地、または旧国名を範囲として考查するテストである。この存在を知ってから、地理の授業がないせに、答えしか丸暗記しておかない、どういう意味だかわからない、とぶつぶつ言っていた。私はまだ中国の地図を正確に暗記できないけど。大嫌いな気持ちを持ちながら覚え始めた後に意識できた一つのコツは、読み方を覚えなくても漢字が通じるから、点数も取れるのである。中国人ならではの漢字力が強い。私にとって漢字だけ覚えたらそんな難しくなくなった。ほどで何度も練習に練習を重ねて、たくさんの見苦しい丸を描いた。最後に、50点満点のテストで48点を取って、すごく大満足だった。しかしテストが終わってから一瞬に忘れてしまった。定期的に要らない情報を忘れて、記憶から消えるということは、大脳の自我保護機能そうだ。



2018年、世界と温かく抱き合おう(スピーチ原稿)

2018.02.04

大口明光学園に来た時、ある日の放課後、暗くなつてから校舎を出ると、友達が一人でお家の方の迎えを待っていました。私は、「何分くらい待っているの?」と聞いてみました。すると「もう1時間くらい」という答えが返ってきました。その日はとても寒くて、手が冷たくなつて、体もぶるぶると震えてしまいました。そうしているうちに、やっとお母さんが来ました。友達は、車に乗り込むときに一言も文句を言わず、「ありがとうママ。大変だったでしょう。仕事の都合で遅くなつたんだから、そんなに焦らなくて大丈夫だよ。」と言っていました。車が見えなくなるまで見送っていた私は、すごく感動させられました。

なぜかというと、中国では、子供が親に、車で学校へ送つてもらい、降りるときに「ありがとう!」と言わないことはかなりあります。送つてもらったことに心から幸せを覚え、親への恩を感じる子供は珍しくなつているのではないかでしょうか。雨や雪が降つても、どんな場合でも「子供が学校に遅れないように」と思いながら送つてくれる親たちは、感謝の言葉すらもらえないのです。

ところで、私たちは、どういうわけで世界と温かく抱き合うことを阻まれているのでしょうか?

みなさんは、時代のせいにしたと思われるかもしれません。

私たちのいる現代は、最もいい時代であると同時に、最も悪い時代でもあるに違ひありません。経済の成長や技術の進歩など、生活利便性は向上していますが、一方では、家族での情愛の欠如、仲間同士で信頼し合うことの難しさなど、社会の中での心のつながりを希薄なものにしてしまいました。「自分さえ良ければ! 今さえ良ければ! お金さえあれば!」という、おぞましい心に染まつた人が増えてきました。それで、世界は、自分自身以外のことには無関心になつた、と感じられることが多くありますが、本当にそれだけなのでしょうか。私は、実は、この世界は、ものすごく感情がこもつてゐる、と信じています。

日本に来た後に出会つた人たちは、ずっと私の心を温めてくれました。

駅で定期券を紛失したとき、ホストファミリーのお母さんは私の代わりに、駅の係員の方に連絡して、探すのを手伝ってくれました。バスに乗つた時には、乗つた後に十分なお金を持つてこなかつたことに気づいて困つてしまつた私に、運転手さんは「大丈夫ですよ」と言ってくださいました。

今年のお正月には、ホストファミリーと一緒に紅白歌合戦を見たり、お節料理を食べたりして、とても楽しく過ごしました。そして、友達や先生がたから心のこもつた年賀状をもらい、ホストファミリーからはお年玉までいただきました。

また、慣れないことばかりで、外国人特有であろう緊張感のとれない私をリラックスさせるために、友達はいつも話しかけてくれて、とても嬉しかつたです。どこに行つても、私の流暢とは言えない日本語を、みんなは焦らずにずっと微笑んで聞いてくれて、そしてゆっくり話してくれるので、鹿児島弁、薩摩言葉でもないをいっちょとか、てげ、わかいもす。

今、私がお世話になつてゐる大口明光学園は、心の教育を提唱する学校で、思いやりの精神や社会性などを養つています。郷中教育を中心にして、「弱い者、困つてゐる人を進んで助けるべし」という項目を実行しています。先日、ある光景にとても驚きました。寮の玄関に掃除用具の入つた大きな荷物が届いていました。高3の先輩が抱えて倉庫にそれを運ぼうと、2、3歩歩いたところ、すぐさま高2の先輩が走つてきて、「代わります」と言いながら荷物を受け取つてます。すると今度は中学生が走つてきて「代わります」と言って、同じような状況になります。その荷物はいつになつたら倉庫に届くのやら、滑稽に見えますが、この学校では我々の人生に対して、「目上の人や、弱者などに手を伸ばして助けるべし」という心を学んでいると実感しました。

家族との愛想、社会への愛情、弱者への思いやりなど、全てが世界と抱き合つ方法のひとつになります。伊佐市大口は、鹿児島の北海道と言われてゐるようで、本当に札幌より最低気温が低くなつたことがあります、ここでの日常生活の中にしみこむ温かさは、私の心をすごく温めてくれました。わっせさんかけど、よかとこです!

また、この暖かさが世界に広がれば、世界中が温かく抱き合つことができます。自分の心を温めると同時に、青春の日々を温めて、ひいては世界を温めています。2018年、皆さん、一緒に世界と温かく抱き合いましょう!

以上は「鹿児島で世界を語ろう」外国人日本語スピーチコンテスト本選の原稿です。中間研修の間に、知らない人から手紙を送つてもらいました。読みながら涙が出でき、自分の存在感と価値を認められたことはすごく嬉しかつたです。大変ありがとうございました!

残りの5ヵ月間、自分のため、そしていつも支えてくれた先生方、両親、友達のために、頑張つていきたいと思います。

冷たい毎日です お元気で通学
ていはますか お体を大事にす
突然 知らない人から手紙が
届いてビックリだと思ひます

私は 2018年1月27日
かごしま交流センター(県民ホール)
で 韓さんの日本語スピーチコンテスト
を胸を熱くしながら聞かせて
もらつた一人です 日本人より
礼儀正しくて私が今一番
望んでいたスピーチ内容でした
心から有難うございました

今も韓さんの姿をハッキリと思ひ
出しています この先も 今の気持ち
心を持ち続け中国鳴、日本ため
世界のため活躍して下さいね
有難うございました さうなら

把日文投稿翻译中文的文章

冬休みの食生活

2018.02.10

この前に日記にも食いしん坊として自己紹介した通りに、特に食生活の部分を抜き取って日記のテーマとして書きたいと思います。

1.お餅!

新年に近いうちに、全ての家でお餅を作り始めました。中国であまり食べなかっただすけれど、日本に来て正月の間にずっと食べ続けていました。のりに巻かれて、醤油をつけるお餅とか、つぶしあんの入ったぜんざいとか、きな粉をつけるお餅など、そして大体解凍したお餅に過ぎませんでいた。お餅はしこしこする歯ざわりがあるし、私自身が甘味に目がないし、最初にとても楽しんで飽きるほど食べて、いつも腹一杯になりました。しかし、一週間の間に朝ご飯の時も間食の時もしばしばお餅が出てきて、食い飽きるまでに至りました。好きだと言っても、キリがないわけではありません。この習慣は私にどうしても馴染められない、これだけは確信を持って言えます。ぬるぬるしたお餅が胃に凭れて、何とかしてゴムを山のように積んだらしさそうで、無理だと言ったらなかったです。もののホストファミリーのお母さんの料理がとても美味しいし、私が食べ物に対する執着が強いし、「もうちょっと食べてもかまわないかなあ」と思いながら食い意地が張っていました。人間は矛盾だらけのように、とにかく食べ物に面する時にお手上げのしまつで、どうにもなりません。冬休みの最後の日に、地域の子供向けのふれあい場に行って、現に餅つきを体験しました。機械が自動に作ったお餅に比べて、自分の手作りの方が柔らかくて美味しかったです。また、神様をお祭りするの鏡餅も作りました。1月11、12日までに食べないといけないそうですが、徽がはえれば食べられないと思うと、みかんと一緒に、早めに食べ終わりました。

2.七草がゆ!

七草がゆは人日の節句（1月7日）の朝に食べられている日本の行事食（料理）です。春の七草や餅などを具材とする塩味の粥で、その一年の無病息災を願って食べられると共に、祝膳や祝酒で弱った胃を休めるためとも言われています。スーパーは七草がゆの食材包みが売っているそうで、それを買ってから家で手作りのほうが極簡単になります。確かにこの間に胃は荷が重過ぎて、何かさっぱりしたもの食べたくなりますので、七草がゆがちょうど口に合います。ちなみに、これは日本に来てから、半年間以来初めて食べたお粥です！中国ではほぼ毎日朝ご飯にお粥を食べる私に対しては、お粥がとても懐かしいです。今度お粥を食べられる時はいつごろになりますか。

3.手作りの中華料理！

「コーラ付けの手羽先」

クリスマスの時に日本人はいつもチキンを食べるそうで、その雰囲気と伴うために、チキンの料理を作ろうとしました。ふっと一つの名案が頭に浮かんで、友達を聞いてみて、やはり食べたことはないと言われました。「コーラとちきん？ マジで？ どういう味？」友達はこの珍しい料理に対して強い興味を持っていました。作っていた途中、鍋がまだ乾かないところに油を入れてしまい、油がなべの外に跳ねました。出来上がりは見た目が見苦しそうですが、とてもいい味だと思います。

「中華鍋」

代さんが中国から持ってきた「火鍋底料」を使って、ホストファミリーと一緒に楽しく中華鍋を食べました。「火鍋底料」というものは、油や唐辛子の味付けた固体調味料で、お湯で溶けた後にそのままで食べられるようになります。とても便利で、作りやすいものです。代さんは辛い物が大好きなのに反して、ホストファミリーの先輩と私はそれが非常に苦手です。最初は心配しながら思い切って食べてみました。ちょっと辛いけれど、想像より美味しかったです。辛さの作用を消すように冷たい水をがぶ飲みながら肉を頬張りました。熱さと辛さを相まって、みんなの顔が赤らむようになりました。辛すぎると知りつつもどんどん口にしていました。もしかすると、これはいわゆる辛い物の魅力でしょう。ただし、代さんは「辛さがまだ足りない」と、ずっとぶつぶつと言っていました。理解できない舌の強さという過言でもありません。

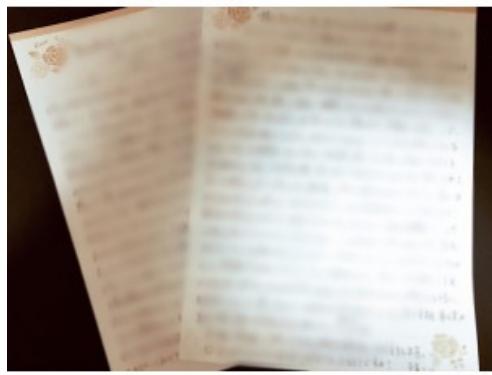
「餃子」

冬休みの間に、時間が十分な余裕があるので、少し面倒ですが、餃が違う「肉三鮮」と「白菜」両品の料理を作ってみました。スーパーで必需の食材を買って、一人で餃子を作ってはじめました。たまごを炒めて、エビの汚れを清めて、野菜や肉餡を細かく切り刻んで、醤油や胡椒粉で餃を和えました。ホストファミリーと一緒に、餃子を包みました。普通と異なる一種の包み方を教えてあげて、みんなは最後までとても上手になりました。食文化の交流とされたつもりで達成感が一杯ありました。皮がスーパーで買ったもので、その上に水をつけて粘りがあるようになり、皮の上下を貼り付けて、難なく出来上りました。残念ながら、煮えた餃子は互にくっついて、何個の皮が破れてしまいました。けれども、久しぶりの餃子を食べてからお腹も心も大満足になりました。

反省点：ホストファミリーに中華料理を作つてあげる気持ちが十分ですが、台所を汚くしまうことや、知らないで何事にも聞き続けることなど、かえってホストファミリーに対しては負担になってしまう可能性もあります。事前にホストファミリーとたくさん相談して、恐れや心配などを話しておいて、許可をもらった後考えを行動に移すべきです。できるだけホストファミリーと一緒に作つて、知らないことがあればすぐに聞かれますので、面倒が省けるようになります。そうすればホストファミリーとたくさんの交流をできたり、自分が作りながら作り方を教えてあげたりしたらいいんじゃないですか？







把日文投稿翻译中文的文章

手記「3」

2018.03.17

2.28 寮の感恩ミサ+高3送る会

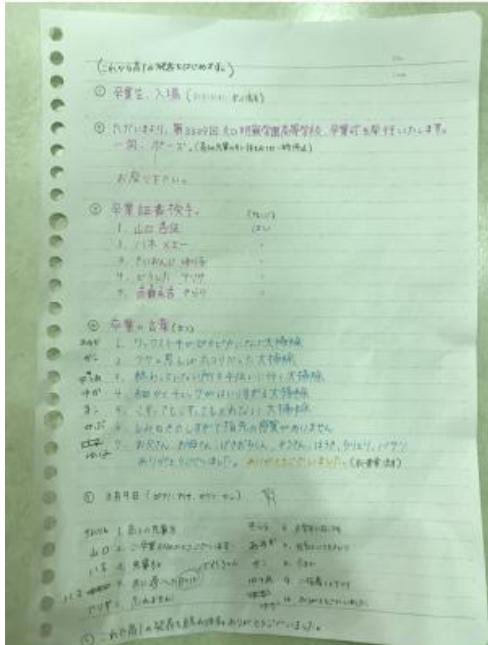
感恩ミサは6時から寮で行われ、神父様、シスター方々、寮の先生方、そして寮生全員は参加した。学校のミサとの厳かな雰囲気と違い、今日のミサは特に高3の先輩のため用意しておいたので、感情に囲まれた雰囲気の中でお祈りをしながら先輩たちの未来を願っていた。先輩へのメッセージの時に、たくさんの友達は気持ちを抑えられなく泣き出して、私もこの場面に特有の雰囲気に響かれて感動させられた。

7時から寮の高3送る会が始まった。パーティーのように椅子や机を片付けて、丸で囲んだ。今日のために用意された弁当を食べながら友達としゃべった。8時になってから、学年の順番通りで演劇や漫才やダンスなど、色々な出し物を発表した。会場には笑い声と叫び声が上がって、とても楽しかった。高1はアンケートで先輩方に高校生活を思い出させるように、面白くて恋しいプチ卒業式を決め、先週から日々の練習を重ねた。最高の記憶を作ることを目指して、入場から退場までたくさんの細かい点に検討をしながら工夫をした。毎日の夜に合唱の練習やリハーサルが大変だと思っていた場合は結構あるけれども、友達が一生懸命にやっている姿を見て、自分にも支えの力になってきた。「変な人」「空気ピアノ」「先生に真似をする人」など、みんなは各自の役割を果たして、力を合わせて最後までやり遂げた。

この体験を通して、私は友達の表現力と発想力に驚き、先輩への感謝と尊敬ある心にとても感服した。集団行動に苦手な私は、1日も早く友達の輪を入れるように自分の行動様式を調整しながら、新しい物事を挑戦している。そして友達のやり方を見習って、日本人の国民性を真剣に突っ込んで考えられる。

3/2 寮のひな祭り会

実は3月3日が本当のひなまつりだけど、寮のひな祭り会は今日で行った。この前に寮生投票で着物の着る方を決めるることは、今日に公表される予定である。先生がちょっとしたお話をした後に、みんなは一斉に伝統的な「ひな祭り」の歌を歌い、雰囲気を盛り上げた。そしてみんなは一人ずつ桜ちちのお菓子を配られた。中身のつぶあんがおいしいけど、塩漬けの桜の葉が本当に苦手だと思う。次は着物の着る人が登場して、みんなと一緒に集合写真を撮った。ちなみに人気のある二人とも私のクラスメートで、着物の姿もとても可愛かった。







把日文投稿翻译中文的文章

手記「4」

2018.03.17

3/3 湧水町ピストロ交流会

今日は代さんと一緒に湧水町で行う、ピストロ交流会に参加した。交流会は自国の料理を出品するを要求され、「春を味わえる料理」というテーマで、それぞれの国の食文化を味わえる機会である。8ヶ国の方々が参加して、料理を通して外国の雰囲気を醸し出した。

私たちは1ヶ月の前に交流会に招待され、二人が一緒に一品の中華料理を作り出すのを決められた。中国の代表として重たい責任感を持っているので、何か作るのか日々考え込んでいた。先生から、「簡単な料理が結構」という助言をいただき、それで二人は気軽に「トマトと卵の炒め物」というメニューを決めた。そして、パフォーマンスも応募した。

午後1時半ぐらいから準備を始めた。鹿児島県内あちこちから来られる方が集まって、湧水町の市民会館の料理室で自国の料理を用意し始めた。準備時間が少ないかと思うと、職員に聞くと「3時間ぐらい」という返事をしてくださって、複雑でもっと水準の高い料理を決めればよかったと、がっかりした。そして準備時間の間に、二人はほぼずっと他の国の方をいくらか手伝っていた。国籍と母国語が違っても、みんなは共通の言葉、日本語で挨拶したりしゃべったりして、とても楽しかった。

30分で料理を作り鍋に入れて、本会場に移動して、自由に料理を試食した。どの国の料理も美味しいと、驚異的なスキルを見てくださった。自分で作ったものは見苦しい点もあるし、一見に工夫がないとすぐわかるし、後悔してやまなかった。ただし、たくさんの「おいしい」と返事を聞いて、自分の料理に自信を取り戻してきた。

その後、オカリナの楽器演奏と歌も披露した。日本と中国の絆を追い求めるため、選んだ曲は中国でも日本でも大人気のある、アニメ「」の主題曲と歌手鄧麗君さんとのである。うまく行かなかったけど、応援してくださった先生たちの微笑みを見てから、心の中で安心感に溢れた。さらに最後のところ、何気なく面白い話を言い出して、みんなを笑わせて会場の雰囲気を盛り上げた。

今日はたくさんの外国人と接して、「言語は力なり」ということを実感できた。なぜかというと、どれほど多くの大量の知識を持ちながらも、外国人と交流する時に、互いに意思を通じられなければ共感や反発などの、いわゆる交流の意義を失ってしまうからである。そして一国の言語を身につけると、この言語の話せる友達を作るようになる。その友達は、外国の背景を持ち、異郷の文化を詳しく知っているので、交流のうちにたくさんのこと勉強になり得るのだろう。新しい世界観、新しい物事の見方、新しい過ごし方、それぞれは私たちに多様な人生の選択肢を提供してくれるはずだ。

今回の留学生活に伴って、私はたくさんの地域活動を参加している。単純に勉強するばかりで、社会に歩き出さないと、国際化の視点から全面的に「日本って、どういう国?」ということを理解できないのだろう。地域活動はもっと多くの日本人と出会い、外国人に対する対人関係が勉強になり、国や国民性の共通点や相違点を見つける貴重な機会である。この機会を大切にして、様々な行事を通して、将来に役に立つ経験を積み重ねながら民間の交流使者として活躍していきたいと考えている。





把日文投稿翻译中文的文章

手記「5」

2018.03.17

3/7 料理自習

ずっと期待している料理自習がやっと来た！今度のテーマはお菓子で、4つのお菓子(巻き寿司、花見団子、桜もち、肉まん)を作ると要求された。2時間の限定時間の間に、4人に一つのグループで行動する。実習前にグループで討論して、時間を合わせてそれぞれの仕事を分けた。

中国に両親と一緒に肉まんを作った経験があるから、私は肉まんの担当にしようとした。だが、ただ一人で作ったことがないから、うまく行けるかちょっと心配していた。授業が始まっているから、みんな自分の仕事に取り込んでいた。私は皮から作り始め、皮の材料を全て混ぜてた後、力強く捏ねた。そして、寝かせる生地を待つと同時に、玉ねぎを切って、ミンチと調味料と一緒によく混ぜた。混ぜた後ちょうど生地も出来上がったから、それを10等分して、平たく延ばした。中心が分厚くなるように、左手で生地を回しながら右手で周縁部から中心まで伸ばした。これはお母さんから勉強したコツで、大変役に立った。これまでのろのろした動作のせいで、そして友達と我々のバカバカしいミスで笑ったばかりで、あまり時間が残らなかった。鈴をもう鳴らしても全然終わらなくて、そして他のグループも同じような中途半端の状態みたいで、決まりが悪い思いをしながら家庭科の先生を任せしかないので、終礼が終わってから戻して片付けをすると決めた。

お菓子を作っている過程がとても楽しかったけど、後の片付けが想像より大変だった。使った器具が全部しっかりと洗わないといけないし、食べる時間が不足でラップをして持つて帰らなければならないし、なんとなく片付けのほうが疲れた感じがした。部活のある友達がさっさと出ていったが、私は水曜日に部活がないので最後まで先生と一緒に片付けをした。

寮に帰つてから食事の時間がもう始まった。ちょっとご飯とおかずを盛りつけて、お腹を空かしてお菓子を食べられるためだ。かなり冷えてしまったお菓子を食べながら、見た目も味もよくできた満足な結果を得たと思う。友達の肉まんに比べれば自分の肉まんは綴じ目がしっかりと取ったので、自慢するくらい本当に素晴らしいと思った。グループの友達が作ったお菓子もとてもおいしかった。家で作るのに比べると学校の方がもっと手間をかかりながらも、初めて学校で料理を作られた経験をいただいて、本当に楽しかった。

もしかしたら、中国の学校にも家庭科の料理自習を実際に導入すれば、生徒達が絶対に大興奮になると信じているが、それはしばらく夢みたいだ。学校の人数が多くなるからして、家庭科のような少人数制で行う授業がなかなか難しくなる。それは別に許されることだと思う。ただし、それから日中両国の違いが生じてくる。中国の学校では、家庭科の授業がほぼないので、学校自身は生徒達に家庭技能や社会活動に関する知識を教えてあげる義務を履行しなくてもかまわない。それで中国の両親達はこの重い責任を持つようになって、家族環境で毎日の生活を通して、子供の将来を考えながら教えている。これも利点がある。ということは両親は家庭科の授業の時間に限らなく、いつでも教えられ、家だったら実践できるからである。子供は見聞して慣れていれば、知らず知らずのうちに家庭の知識を学び知るようになるのだろう。

3/14 17歳誕生日！

初めて外国で過ごした誕生日だから、一周間前から興奮状態に伴い、緊張しながら期待していた。

週末の時、お父さんとお母さんから心の込めた手紙を見ながら泣いたり笑ったりしてとても感動した。両親は当然に私のことを心配していても、私の身につける束縛を脱してくれたいので、無条件に私の留学生生活や選びを支えてくれると言われた。そして私の留学のおかけで、両親は負担が軽くなり、自由を享受しながら新しい生活方式を見つけた。全身全霊を傾けて子供のことを考えることばかりではなく、自分に属する唯一の人生を楽しく送るために今から考えずにはいられないと言われた。留学の半年間にわたって、私にも両親にしても自己反省の機会が多くなり、親子関係を適切に修正しつつ大きな成長となり遂げた。

朝は洗面所にいた時、友達が突然に歌を歌ってくれた。登校した時も、校則審査員から歌ってくれた。友達から誕生日プレゼントももらった。編成テスト(高2に入るためのテスト、国数英だけ)は無事に終わって、やっとリラックスできた。

授業が終わった後、すぐに寮に走って帰つて、私の郵便を探してみた。夏さんから届いた手紙とプレゼントは首を長くしてながら期待しているからだ。手紙を読みながら何もなく微笑みが頬に浮いてきた。そして、お母さんとお父さんからのサプライズ——バースデーケーキも届いてきた。先生から伝えてくださった瞬間、嬉しさのあまり泣き出した。

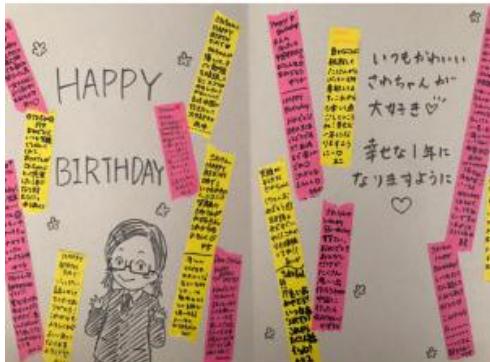
夜はちょうど3月に生まれた寮生たちの誕生会だから、全員は一斉に誕生ソングを歌い、高1の寮生代表からメッセージをもらい、みんなと一緒にケーキとアイスを分けて食べた。また、日中交流センターの先生方や第12期生の友達からたくさんの祝福をいただき、みんなのおかげで最高の誕生日の一日を送つてとても嬉しかった。日中交流センターから届いてきたメッセージと第十二期生の集合写真も大好きだ。

昨日は見知らぬおじいさんから鹿児島県外国人スピーチコンテストの努力を褒められ、手紙やプレゼントをいただいた。今まで日本にいる間に、たくさんの人と出会い、たくさんのことと体験し、たくさんの恩をいただいた。私のバカバカしい錯誤を容認して、そしていつも支えてくれた人々のことを忘れず、毎日を感謝しながら力強く頑張っています。



写给17岁的自己

鹿兒島県伊佐市
大口里 1830



把日文投稿翻译中文的文章

半年間に一番勉強になったこと

2018.03.27

振り返ると、16歳の頃にたくさんのことがあった。日本に留学するか、または中国で大学受験するか。「心連心」のプログラムを応募するかどうか。いずれかの選択は一生に影響を受けつつ後悔しても追いつかないでの、慎重に決定しなければならない。家族と激しく喧嘩し、取扱選択に迷い、最後には私はずっと自分の意見に確執していて、両親は賛成せざるを得なかった。小さい頃にいつも両親の意見を尊重し、素直な子供だと認められていたが、16歳の青春期に意志が強まりすぎて大きな反発が起った。

両親の許可をもらった後、心の重荷をすっきりとおろして、思い切り自分で選んだ道に進めると思いつかや、自分の夢を追っている間に、いくたびも不思議な挫折感を味わった。自己反省したばかりでも困惑に巻き込んだ場合が多くあり、努力したくせに望ましい結果が手に入れなかった。優秀な先輩を仰いながら緊迫感に押せられ、心が乱れてしまった。

留学生活はもう半年間以上経った。以前は想像つかない困難がたくさんあり、理想と現実の差を跨りにくくなかった。限られる環境の中に限りなく努力すると意識できた。失敗や戻りの滋味を味わい、思想や自我認知を充実になり、よりよい自分になりつつぐんぐんと成長していた。

この前に陳天行くんの日記を拝見していただき、完全に同じことを体験したことがある私は心から抑えられない感情が湧き出した。4年間に日本語を勉強し続け、半年間に日本で住んでいても、今まで友達の会話を理解できない場合が結構あり、言いたいことははっきりと説明しにくい時もたくさんあるからだ。友達の困らせる顔を見て、しばしばがっかりしてしまった。どうやら正に日本人の友達の輪に入れないさうで、手が付けられないと自己判断して、消極的に一人の世界に籠ったこともある。けれども、ネガティブに留学生活に臨んだ後、結局は状況が悪化しつつある始末なのである。それから、あることを意識してきた。

自分に失望させても、自分でしか希望を探しもとめないのだろう。高すぎる期待値を設定せず、能力にふさわしくない計画を立てず、自分との適当な妥協に達成していこう。

五味先生は私に「自分がプレッシャーをかかるないように」というアドバイスをしてくださった。私は逃避的に「無理だ」「なんでもできない」というような自己判断を下したことから、積極的に客観的環境を受け入れ、主観的知から「今何かできる」と考え始めるようになった。そして客観的の外在環境に満足するようになり、主観的な自分自身にいつまでも満足できないことにする。ただし、優秀な自分に強い憧れを思えば、かえって自分を見失い、自己肯定感を損なうという事態に陥っているのではないだろう。そして追求してやまない間に自分にプレッシャーをかけてしまい、理想との差が激しくなると、結局息苦しくなったり頓挫をきたしたりするのではないだろう。要するに、自分が気分のバランスを取らなければならない。皆さん、残りの3ヶ月の間に、うまくいかない時に「何かできれば」と自問すればどうだろう。

把日文投稿翻译中文的文章

卒業式から見ると

2018.03.27

高校に入ってから初めての卒業式がやっと終わった。私は卒業生ではないので、単純に先生の指示を聞きながら立ってから座り、そして数十回の標準的なお辞儀をするという仕事だけであった。そして、うちの学校は、校則がかなり厳しいし、卒業式も真面目なイメージだと思われた。卒業のリハーサルは12時間があり、体育館で歩き方や聖歌を練習したり、タイミングの打ち合わせをしたりして、本当に辛かった。治ったばかりの霜焼けは又しても痛くなって、体育館で2時間経つてから両足が冷えすぎて知覚を失うぐらい死にそうだった。ミサより卒練のほうが大変すぎて、そして建前の話や形式的な流れがやや多いと思い、何度も一人でぶつぶつと文句を言った。

しかしながら、卒業式の本日に、過去の考えが全然間違った、と改めて考えた。

卒業式の時一番泣き崩れった人は、私にはかならない、と先生達から言われた。顔も真っ赤で、涙がぽろぽろと零した。泣き声を止めそうとするけれど、さらに感情を抑えられなく目が泣きはらしたそうだ。寮に大変お世話になり、一緒に楽しく過ごしていた先輩たちは、別れてからまた会えるのがわからないのだろう。冬休み中にたくさんのお話をし、あちこちに遊びに行った先輩たちは、恩返しのことができなくなるのだろう。まだ話しかけたことがなく、一言でも挨拶したかった先輩たちは、今後どこかに会えば気づけないのだろう。我々はお互いの人生に対して、元々は見知らぬ人にすぎない。縁の糸の両端に結び付けた私たちは、仲良いい友達になり、いい思い出を作り、お互いの人生を通りかかり、塗り替えられない記憶になった。別れるのは不可避だが、別れるの時に勇気を身につけなければならないと実感でき、心から先輩たちのことを願ってやまないようとした。

中国の出身校で、卒業式は一般的にこのような感じである。校長講話、卒業生講話、先生送辞、保護者謝辞、ここまで日本とほぼ同じだろう。ただし、この後はクラスごとに出し物があり、学園生活について自作した歌や詩の朗読、個性の最大限を発揮するため、たくさんの出し物を披露して、最後に学校で最も素晴らしい記憶を残すように華麗的に告別するということである。けれども、中国の場合(学校によって違うかもしれない)には卒業式が高3しか参加できないのであるが、日本では後輩たちも参加して先輩を見送るようである。

ともあれ、形式的でも非形式的でも、中国でも日本でも卒業式ということは、必ず私達の心に刻めるのではないだろう。

卒業ということは、なぜ重要かというと、それは一段階の終わりを示すことだけではなく、なおもう一步前の段階の始まりを象徴しているからである。中国の言葉で表すと、今「式典感」ということがとても流行っている。我々は毎日あくせく働く生活に、ふとむなしく感じるときがあり、「なぜ生活しているのか」ということがだんだん忘れてしまう。その後、「生活」は単純の「生存」になってしまい、つまらない生活に襲われ、何事でもうまくいかなくなるのだろう。したがって、式典という存在は、新たに普通の生活を意義つけることができる所以である。明日の朝、目が覚ましても同じ生活を送るよりしようがないけれども、平凡の日々の中に式典を作り出し、さらにそれを利用して、過去からすっきりと切り裂け、これからより良い自分に見えるようになる。そういうえば、式典はきっかけであり、人生の特殊な時刻であり、イメージチェンジになることである。「生活はその日暮らしのことわけではなく、また遠方と詩趣があるわけだ。」という話のように、式典の時に、気分転換をして、日常生活を楽しく過ごしていこう。

把日文投稿翻译中文的文章

100均!

2018.03.28

先日「100円のお店」についての特集を拝見して、私のちょっとした感想も書いてみたいと思ってきた。個人によって見方が変わるかもしれないが、見解が違う場合お許しください。

日本に来た後、安さが魅力の100均は節約を重視するなら欠かせない存在になる。今では大半のものを100円で手に入れるので、私は毎回外出する時も必ず一回行ってみる。

100均で売っているものはその価格と相応の品なので、強度が十分ではなかったり、壊れやすいなど、必ずしも商品として私たち消費者が喜べるものばかりではない、という現実もある。口に入る食べ物や熱に弱いプラスチック製品など安全性につながるものは避けるほうが安心だと思う。

しかしながら、100均店の商品が全部安くて、もう一個買ってもお金がそんなに増えないので、軽率に必要のないものを買ってしまい、大量の余計な小物が残してしまう場合は結構あるのだろう。特に女の子に対しては、かわいい飾りや小物を気に入り、興奮状態になり、計画外の大額のお金を払ってしまう。だが、ひとつひとつは100円でも大量に買えばそれなりの金額になるのだろう。

要するに、100均は何でも揃う反面、上手な取捨選択が必要になり、欲望に対する抑制力を行使しなえればならない。必要か不要かの判断は忘れないように、決算する前に、もう一度買いたいものを確認した方がいい。金銭面に注意すべき理由もあるが、一方では、買ってきても使わない場合には、浪費になってしまい、たくさんの中物がたまると後の収納も片づけも大変になるのだろう。

この間に、寮のお小遣い帳を確認し、お金の使い方を大事になってきた。スーパーに行って、洗剤や食べ物などの生活最小限のものを買ったとき、一分は2千円～3千円ぐらいたつてしまうのだろう。または予算を立てにくい娯楽費や被服費など、一瞬に爆発した欲望に支配されて、必要性がないものを入手して、後から後悔したばかりのだろう。両親から自立の生活が始まる前に、うまく買える人になれるよう少しづづ節約していこう。

以下通り、ここで私が思っているお得なものを紹介したい。

洗濯ネット（とても便利で、共有の洗濯機に下着をまとめて入れると、自分にとっては恥ずかしくないし、利他的な考えだと思われるし、特に寮で住んでいる人が必要である）

長傘（コンビニよりかなり安い。私の教訓として、コンビニで1000円ぐらいで一本の長傘を買ってしまったことがある。日本の傘立てが主に長傘用で、折り畳み傘のほうが不便である。または東京のような大都市で、電車内に大勢の乗客を詰め込んでいる時、濡れた傘の上の水玉が簡単に流れるので、他人の衣装を湿さない。ただし、質が高いとは言えなく、大風の時に壊れやすい気がする）

ペンとノート以外の文房具（はさみ、パンチ、筆立てなど。安上りのコツは、スーパーで見た価格が100円超えたとき、ヒヤッキン店を探しに行く。100円ショップで買ったのに同じものがスーパーでは89円だったということもあるから）

食器（茶碗、お箸、タッパー等など、スーパーよりも安くて、お菓子の保存用も全然大丈夫～）

料理用品（手作りのお菓子を作りたい時に、安価な価格で簡単に材料セットが手に入る。たくさんの種類のラッピングが選ばれるので、とてもかわいい）

追伸：中国である噂を聞いた。友達から「日本の文房具が高すぎるので、たくさん持つていてね」というアドバイスをもらった。実際にお店に行ってから、あまり気付かなかった。ある種類が中国より高いことがあるけれども、高すぎて買えない程度に及ばないと思う。特に100均のお店に行って、時間をかけてじっくりと探してみれば、必ず安いのペンケースやファイルを見つける。（ただし、日本では中国のペンに合わせる替え芯がほとんどないから、ペンの方が中国から替え芯を持ってくればいい。）

把日文投稿翻译中文的文章

手記「7」

2018.04.03

3/25 ホストマザーのためのケーキ!

今日は熊本県の退職の先生方の退職会だそうで、公立高校の先生として、来年度から仕事をやめようとしたホストマザーも朝早く家から出た。先輩からお願いがあって、一緒にサプライズを作つてお祝いケーキを作ろうとした。午後出かけてスーパーに買い物して、新鮮なフルーツとケーキの材料を買ってきた。お母さんは夜9時ぐらい帰る予定だったそうなので、8時から作り始めた。フルーツをスライスやかたまりにして、特にみかんが果肉しか残らないように皮を剥がして細かく加工していた。何層のフルーツの積み上げる、超豪華なフルーツケーキが出来上がった。先輩がメッセージを書いてほしいが、先輩が私の方がいいのを固執した。紙の裏に溶けたワイトチョコレートをつけて、凝り固まらせるために冷蔵庫に入れておいて、9時からお母さんの帰宅を待ち焦がっていた。お母さんはやっと11時の頃に帰って、お祝いケーキを見せてあげた後、記念写真を撮つて、ホストマザーに心を込めて「お疲れ様でした」と言った。メッセージに書いてある中国語も説明してあげた。

私のお母さんも教師の仕事に勤めているから、先生の大変さを非常に理解している我々が成熟になればなるほどどんどん成長しているうちに、先生方は当然欠からない存在として私達を正しい道に導いたり、本格的な知識も人生に役に立つ経験も教えたりすることからである。教師が満足感のある職業だと認められているけれど、先生になる出発点は決して満足感を獲得したいということわけではないだろう。ホストマザーが生徒達のメッセージを読みながらとても感動した顔は、大満足だと見えた。そして、日中交流センターの先生方にも感謝の気持ちを申し上げたいと思います。心を込めて準備した研修の課題、わざわざ用意した誕生日プレゼント、留学の記憶に忘れないことを飾ってくださつて、本当にありがとうございました。残りの3ヶ月間、時間の速さと戦い、上手く時間を利用して、たくさんの思い出を作つて、楽しく過ごせるように頑張つていきたいー

3/30 ガールストーク(笑笑)

今日は久しく会いたかった夏さんと鹿児島中央駅で打ち合わせをして一緒に遊びにいった。プリクラを撮つて、映画を見て、たくさんのお話をして、幸せな一日を送つた。

鹿児島中央駅まで電車を乗らないといけないので、今度は初めて鹿児島で電車を使ってみた。東京は駅から駅まで2~3分ぐらいの感じがしたけれど、九州JRの場合は各駅の間に7~8分かかるの場合もあり(距離はかなり遠いから)、そして隧道を通しながら雑音が入ったり耳が痛くなったりしてしまい、乗車体験がまさによくなかった。帰り道で特急を乗り間違えて、家までの停車駅が行き道とほぼ同じで、時間もなかなか減らなかつたがまた別の料金を払わなくてはいけなかつた。(号泣)

観た映画は、この前に尹さんが紹介してくださいた「ちはやふる一結び」だった。ちなみに今度は日本の映画館で観た初めての映画だ。高1の時「上の句」と「下の句」を観て、それは青春映画の中にもう気になつた。最終編は私に失望させなく大満足だった。和風のデザインも主題曲も大好きだ。

青春と愛が溢れた「ちはやふる」は、部活と進路、恋と友達、出会いと別れ、青春の全てがここに詰まつてゐる。勉強と活動のバランスを上手く取れない時や、友情と恋の分岐点に迷う時など、我々は主人公と同じように困つてゐたので、必ず共感が生じてくるのだろう。

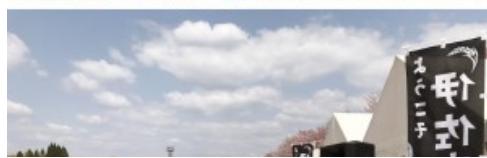
ところで、ちらつとした出場人物でもそれぞれの個性があるから、存在感が出てきて全員を完璧に描かれたと思うが、最後にかるた部の顧問になりクインーになれたことを伝えたが、期待していたクインー戦がなかつたのはちょっと残念だった。

「一瞬は永遠となる」というように、かるたという昔々に生きた人たちの思いを含めて現在との絆が続いてきた。そして、かるたは千早と一新たちの人生に大きな意味が持ちながら貫いていたのである。私に對しては、かるたに熱心で頑張つてゐる主人公の姿を見た後、何か意識できるようになる気がした。私の人生には何か好きなものを選んで、それを一生の趣として楽しみながらやり遂げたいと思う。

4/1 忠元公園の桜祭り

今日は茶道部の一員として忠元公園の桜祭りに参加した。忠元公園は「桜名所百選」に選定され、公園の周りに千本ぐらいの桜に取り囲まれているところである。夜になるとライトアップされ、夜桜が楽しめるそうだ。桜並木はトンネルのようになり、桜吹雪の頃に気高い雰囲気すら漂つてゐるのである。グランドでお弁当を食べる家族同士、楽しく遊んでいる小さい子供達はよく見える。そして、多くの露店(飲食店や売店や特産品販売など)が並んで、たくさんの花見客が訪れて、とても賑わうお祭り氣分である。

茶道部は桜の下での抹茶をいただく「野点」が行つた。綺麗な桜を楽しみながら優美な茶道の点前の姿を觀賞して、春に眞の趣を感じられる。300円のチケットを買った後お菓子と抹茶をいただけるということで、去年より200円ぐらい値段が下がつてきたそうだ。中1の後輩達は助けに來てくれて、先生方も何人ぐらいいらっしゃって、みんなは協力し合つて、隣のある高校の茶道部と「無言の戦い」をして、明光の野点が特に大成功になつたと思う。私はテントの中に汚れた茶碗を洗つたり抹茶を点てたりするのみであつた。亭主になれるまでまだたくさんの練習をしないといけないからだ。中国に帰る時に、茶道の作法を全部身につけ、茶道部できれいなお点前を見せたいと思う。その前に先輩と後輩からたくさんの事を勉強して、練習し重ねて真剣に取り組んでいく。





把日文投稿翻译中文的文章

知而行也，行而知之一宗教力量

2018.04.09

中世纪的宗教改革，标志着西欧世界社会结构，经济体制，政治制度的转型。宗教同化了各个野蛮民族，在古代文明的老朽废墟上重振旗鼓，迅速形成令世人惊叹万分的西方文明。小学的时候去到欧洲旅游，我惊叹于庄严华丽的大教堂，以及其内部百余件精妙绝伦的艺术瑰宝，那时只知道文艺复兴和宗教活动对近代欧洲史有着非比寻常的影响；来到这个学校之前，对于宗教我也只是一知半解，只相信存在即是合理，宗教的存在也必有它的意义。

大口明光学园，算是我第一次与宗教的正式接触。

这是鹿儿岛县伊佐市的一所天主教女校。学园由一位基督教修女创建，校内设有一座修道院，有六位常驻修女，四位日本人，两位意大利人。修女们负责宗教活动的筹备工作，学校的宗教教学以及部分的行政管理，除此之外她们最重要的工作就是与学生保持亲切的沟通和交流。学校有关宗教的主要活动有：每天早饭前、后，午饭前，晚饭后共有四次礼拜，早上上课前有一次圣歌齐唱，每周有一节宗教课，一节圣书研习课，每周六早上有修女主持的集会。除此之外，每年度有5-6次定期的大型弥撒，数次小型弥撒，默想会，圣母祭等等。

在明光耳濡目染了三个多月，我渐渐意识到，宗教是在当下社会中补足理论空缺的一种正直的精神信仰。宗教的教义可以匡正世道人心，规范行为准则，对任何国家与个人来说，它都是至高无上的优秀标杆。日本宗教课的目标也是教育学生善良与真实、自爱与互助的真谛，换句话说，也是在以宗教的名义使学生树立伦理道德的意识规范。简言之，无神论者会遵守被社会普遍认可的伦理道德，但教徒只践行神制定的行为标准。有一节宗教课我记忆犹新。作为性教育的一环，修女选择了一部有关打胎的纪录片与我们分享。一个已形成并客观存在的生命被残忍摧毁，引流出的胎儿身体特征清晰可见。彩超里胎儿为躲避钳具而奋力挣扎的画面痛心疾首，胎儿遗体堆成尸山的照片惨绝人寰。打胎这件事情，从科学角度来说可以造成母体再孕困难，从人文角度而言是残忍剥夺胎儿生存的权利，但宗教角度的说法很简单，“孩子是神的孩子，你没有权利剥夺神的宝贝”。因此可以说宗教无关身份年龄，无关教育程度，用一根筋式的“因为——所以”划分能做与不能做的事情，给那些迷途中的人们提供一种简单易懂的行为标准与行动意义。当你达成神的指示后，生活便被赋予充足的意义，自我达成感油然而生，从而倾向选择继续收获这种“被”满足与“被”肯定。

其次，宗教也是一种强大的心灵驱动，基于“为了主的荣耀”，以及“主及万能”的理论，信徒们以虔诚之心信仰教主的伟大与慈悲，这种自上而下的魄力便会指引人们遵守教规、完善自我，进而达成思想的蜕变与超脱。我曾经问过同寝室里一位天主教信徒的同学是否虔诚地相信着上帝的存在，她回答我，“自出生起受到家庭教育的影响我便成为教徒，我不知道存不存在，但只相信存在这一种可能性。”在我漠然地背诵礼拜誓词、眼神飘忽思绪飞扬时，她却总是双手合十虔诚地祈祷主饶恕她的罪过并祈求主为她保佑祝福。

我询问过许多身边的好友选择明光的原因，大多的回答都是“从学业面考虑”，“母亲是毕业生”。全校师生中，真正的天主教信者也只有寥寥数人，大部分人是非教徒或是日本新教徒（坚守日本传统礼仪作法的一派，在日本最为普遍），也有一部分人是佛教或其他教派的信徒。日本也并不乏偏差值高的宗教学校，那里家长的取舍选择（除家庭本身信教的场合以外，这种宗教学校或许不是最完美的选择）大概也是首先考虑学业，再自我安慰让孩子接受一些教化人从良从善的宗教教育也不无好处吧。

但毫无疑问的是，日本学校宗教教育里表面化、形式化的东西数见不鲜。人文主义说辞的课堂大部分时间被用来读圣经和唱圣歌，严肃的宗教知识少之又少。或许从修女的角度而言，也不希望让学生把宗教当作一门需要记忆的考试科目，从而产生不必要的心理负担。弥撒和宗教仪式在大多数人眼里有逃避课堂时间的替代作用，是可以以轻松的心情走走过场流于形式的活动。学生对于宗教的态度不是敬畏，而是把它当做校规的一部分，内心则与我同样的茫然。唱圣歌时顽皮嬉笑，宗教课上多人补觉，宗教作业也草草了事的情况并不罕见。既然宗教课堂必须占用学生时间，我私心期望形式与内容可以有所改变。圣歌和圣书是信者与神灵敞开心扉交流的间接手段，但在某些情况下却会成为使非信者无聊至极甚至产生反感情绪的罪恶之源。

所以我而言，于坚信事在人为的无神论者的人们而言，中国或许算是一个更自在的政教环境。在中国上下五千年的历史长河中，宗教是统治手段而非目的，宗教文化也未能成为社会思想主流。无论是与欧洲传统宗教国家，还是与新兴资本主义国家相比，宗教在中国的作用愈发式微，逐渐演化成与社会主义相适应的意识形态。并且中国在政教分离的基础上，还实施宗教与教育相分离的原则（日本仅坚持政教分离），行政手段不能干预宗教事务，但同时也无法发展宗教，因此中国的学校里绝无宗教性质的活动，也就无法对学生产生精神压力和时间负担。

随着时代迈进，科学精神及理性智慧的不断深化，这个世界上思想信仰的差异依然处于次要地位。宗教不是在与特定的政治形态作妥协，而是在纷杂错乱的社会万象中寻求与现实生活的交错点，无神论者与各教教徒信仰上互相理解，彼此尊重；行动上和平共处，团结合作，这也并没有那么困难。在我手脚冻伤时送来药和暖贴，在我心情苦闷时为我排忧解难，在这个学校对我最好的，一直都是善良可爱的修女们。她们活得无忧无虑，积极向上，她们拥有至纯至善的信仰。即便我依然对每天定例的礼拜和不定期的宗教活动抱有相当的反感，但是这段接触宗教与修女们的经历也同样使我受益匪浅。拓宽的视野，增长的见识，斟酌中的思考，我喜欢的是这样一个开始。

手記「6」

2018.04.09

3/18 スプリングコンサート&春の市

終業式まであと 2 日。進級テストで無事に合格した後、勉強する気が全くなくなってしまった、いらいらしながら春休みを待つ気持ちだけである。外出した時に春の市に行って、商店街に通いながらにぎやかな雰囲気を楽しんだ。両側には軽食や工芸品の商売を中心にして、たくさんのお店があり、私はたこ焼きや鯛焼きなど美味しいお菓子を食べてみた。伊佐市は人口が約 2 万人だが、あちこちから大勢の人が来られたそうだ。普段は道に歩きながらも人気がなさそうでとても静かな町だと思っていたけれども、今日の場合はまさに納得がいかない気がした。

そして明光で一番部活が多くて、立派な成果のある吹奏楽部のスプリングコンサートが行われる予定だそうで、友達と一緒に伊佐市民会館に見に行った。2 時間ぐらいのコンサートは私の心を何度も強く響いて、感動しながら知らずにとても尊敬するようになった。

東北育才学校は民族楽器楽団があり、全学部に何千名の生徒から選ばれたわずかの 60 人ぐらいである。ただし、明光は全校生徒が 120 人しかないので、中から 20 名の吹奏楽団の生徒を選抜することが一層に難しくなるのだろう。そして、木管楽器、金管楽器、打楽器など、様々な音色と音域を担当する楽器のバランスを把握しなければいけないのだろう。レベルが相当高い演出を提供してくれた吹奏楽部の皆様は、少人数の困難を克服して、真剣に取り組んでいて、想像以上に努力していた姿が頭に浮かべてきた。さらに、スプリングコンサートの一週間前から吹奏楽部は本来の部活よりもっと大変になった。帰寮時間に過ぎても帰れない友達が必死に練習し続けたからだ。舞台で号泣してしまい、私は、「顔が梅干しになった」の先輩を見て、彼女たちがその時点できっと部活のやりがいをわかってきたのを感じて、感動させてもう少し泣き出しそうな感じがした。

そして今度の体験を通して、部活に関する考えさせられた。

日本の生徒達が小学校の後半から高校まで部活に熱中し、技術を磨いていることが珍しくないのだろう。とにかく一本やりで特定の部活を貫き通し、全身全霊で好きなことに没頭する人。放課後に部活があり、休日にも何時間の部活があり、部活のきっかけで才能を露にした、プロ選手や名家になる人も珍しくなかろう。

日本に来る前に、私は中国の高校で「部活」というのも参加していた。文芸部と演劇部だった。文芸部で学報の表紙のデザインと文章の編集を担当しながら、演劇部でポスターと脚本の役を務めていた。ところが、日本の部活に比べれば、中国の「部活」が「部活」とは言えなく、「イベント」のほうに喩えたほうがいいと思う。なぜなら、中国の「部活」は、厳しい部活の時間制限がほとんどないし、部員の存在感が極めて低い場合もある（部活に入った後勝手に参加しなくともいい）、××部という組織は、結局 ×× に関するイベントや出し物を作ってくれる「有志グループ」の存在になってしまう。（自由度の問題）一方では、部活に参加している原因是異なる。私の原因と言えば、単純に趣味だからである。文章を書くこと、そしてフォトショップで加工と編集をすること、一人で部屋にこもってパソコンを大腿に置いて、心静かでお茶を飲みながら豊かな発想が生じてくるのが楽しんでいるからだ。しかし日本の生徒たちは、団体が共同で明確な目標を抱えながらその目標に追いつけるように全員が協力し合うのが必要であるので、団結力を富んだ部活は高いレベルに及びやすくなり、夢を叶えるようになる。（目標性の差異）

したがって、日本の「部活」という形式は、私が以下の 2 つの利点があると考えている。

一つ目は部活では特別な友達をできやすい。もちろん部活外でも友達を作ることはできるが、一緒に長い時間を過ごし、共通の目標に向かう部員達は特別な友達だと思う。クラスメイト以外にも、先輩や後輩などの一生付き合える友達ができやすい。

二つ目は部活で培った力が将来の役に立つ。部活動によって、先輩後輩の上下関係や敬語の使い方、我慢しながら協力することの大切さ、先輩への尊敬心など、学校の勉強では学べないたくさんの人生の勉強が出来る。

明光に入ってから、私は敬語の使い方を身につけるようになって、そして部活の時に先輩や後輩との交流の機会も増えつつある。高校卒業後の大学生活や、さらにその先の社会人になったときにも必ず役に立つ信じている。





把日文投稿翻译中文的文章

手記「8」

2018.04.26

4/3 明光生との初デート

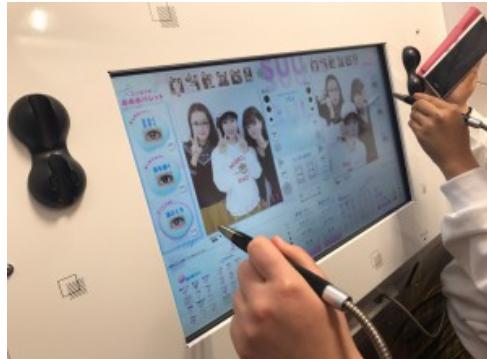
今日は明光の友達と約束して一緒に市内に遊びに行った。昼ご飯は友達からオススメの回転寿司のお店で食べた。9皿を食べた私は一番多い人だった。お金をたくさん持っていないなくて千円以下で済むことにしたので、その自分との約束がないとまた何皿ぐらい入れると思っていた。また価格も激安で1皿100円で寿司が大好きな私はとても満足した。ご飯を食べ終わってから市内のアミュに行って、プリクラを撮ったり無料で着物を試着したりした。着物のお店で意外と夏さんとお友達と出会って一緒に写真を撮った。今度赤い着物が選ばれて寒色より日本っぽいし、顔色がよいと見られるし、もし機会があれば女の子がぜひ赤かピンクの着物を着てみてください~

これで終わりだったら遊びだけのために文章を書く必要はない。今日を永久に記憶に刻みたい原因というのは、帰り道で電車を乗り間違えてホストファミリーに大変心配をかけてしまったからだ。私は鹿児島市の北に住んでいるが、西行きの電車を乗ってしまい、電車の中で「神村学園前」という放送が流したままで全然意識できなかった。(丁さんは神村学園でお世話になっていることを知っているから、その時家行きと違う方向を意識できてすぐに電車から降りた。もし神村学園のことを知らなかつたらもっと遠くの駅に行ってしまう恐れがある。丁さんありがとう笑笑。)時刻表通りに電車を待っていたけれどルームを覚え間違えたからだ。携帯で現在地から家までの経路をナビして、鹿児島市に戻ってそこから栗野行きの電車を乗り継ぎ、何時間ぐらいが費えてしまうという唯一の方法しかないそうだった。その瞬間に、どんなに自分の馬鹿馬鹿しさを恨んでも冷静に考えて間違なく家路を辿ることしかできないのを決断した。ホストファミリーに余計な心配をかけたくないために、携帯で連絡を取り続け、即時に位置や到着駅の名前を報告しようとした。いいらしながら気が咎めて、全身が汗だくなってしまった。

東京に電車を乗ったことは何百回あるが、乗り間違えても意識し次第に、別の線路を乗り変わるのが後戻りするのか、選択肢がたくさんあるはずだから、特に大変なことが起こったことはない。しかし、ホストファミリーが住んでいるところは一日中三本の電車しかないので、利用できる電車の数が極めて少ない。今日の体験を通してよい教訓を得て、今後は電車を乗る前に必ず確認しておくことを常に心がけることにした。

4/4 天然温泉の実体は?

今日は春休みの終わりで、ホストマザーに連れられて、栗野に温泉のある、あまり知られていないところに行った。森の奥に人気なく奥深くて静かなところだった。温泉は無機物が含まれるので、石も黄色か緑色に染みられた。地下から蒸気が絶えず湧き出しながら、石の表面に霧を作らせた。手を土地に近づくと蒸気の流れと温かさを感じられた。深呼吸をして空気を嗅いだら自然の温泉の匂いがとても臭い気がして、それは普通に温泉に入る時、あまり想像できないことであるだろう。そして調べてみると、芳香剤が入った温泉の効果が下がってしまいがちだ。いい匂いがする温泉は、あまり効果がめだって低下しているか、全く温泉ではなく熱い水なのか、この2つの可能性にほかならない。日本に来てから一回でも温泉に入ったことがないが、せっかく鹿児島にいる時に一回行ってみたい。







把日文投稿翻译中文的文章

手記「9」

2018.04.28

4/22 一日里親

今日は寮の定例行事、一日里親ということだった。自宅から通う生徒の保護者や、卒業生の親、学校の先生など、たくさんの方々が足を運んできたて、地元から離れた寮生のためにゲームを用意したり、バーベキュー会の食べ物や道具を備えてくださった。

朝10時頃、全員体育館で集合した。参加者たちは一人一人で簡単に自己紹介をして、触れ合ってみた。大人と寮生を合わせて10つのグループに分けた。上位3位のグループが賞品をいただけたことを聞いて、みんなは勢いよく腕が鳴った。

まずは体育館で行うレクリエーションだった。ドッジボールや、ターゲットバードゴルフ、輪投げなどたくさんのゲームを楽しんだ。珍プレーのたびに驚きや感嘆の声が上がり、みんなは笑顔で拍手を送っていた。押し詰めて言えば、「ドキドキ、ワクワク、ハラハラ」という形容詞が述べる状態だった。

中庭でのバーベキュー会は、お肉を提供されたことだけではなく、たくさんの種類のおにぎりと焼きそば、そしてイチゴやパイナップルなどのフルーツも準備された。私たちは胃がもたれるまで、箸でおかずを取り合って挟んで、慌ただしく口に詰め込んでいた。すっかり食べられてしまうことを怖がりそうだと思った。また地元の保護者たちと深く交流したり、ずっと抱えた悩みについて相談したりして仲良くなかった。この前に私を受け入れてくださった二つの家族の方も来られて、近況について詳しく問い合わせて、応援の気持ちを表された。またゴールデンウィークの時に来てほしくて学校から応募したという話を聞いていただき、心が温かくなってとても感動した。

母が卒業生で、また自分の娘を明光に入学させることや、家族姉妹たちが全員明光で学ぶのは、決して珍しくないことである。信頼感に基づいた絆により、札幌や東京など遠方出身の生徒がたくさんいる。今年は1人の中国人でさえ明光を選んだ。小さい学校だが、学校でも寮でも先生たちに目を掛けられ、十分にサポートされていると感じた。学校の校則や寮のルールは極めて厳しいところもあるけれど、何事でも気軽に相談できるし、休みの時に勉強以外の話なども大歓迎されるし、先生との距離感があまり感じられなかった。

毎日定例の祈りの時に、「今日私たちを支えてくださったシスター、先生、友達や多くの人たちに、たくさんの恵みをお与えください」という祝詞がある。その時、今日感動させた瞬間や場面など頭に浮かび、感謝の気持ちがいっぱいである。毎日ちょっとした時間をかけて楽しいことを思い出して、そして心の奥にもう一回吟味すれば、幸福感を向上させることに繋がるそうだ。辛いことがあるけれど、楽観的に楽しいことを大切にするとリラックスになるかもしれない。我々はたまに煩うことがあるけれど、学校の先生方やホストファミリーに頭を抱えさせたことが決して珍しくないわけだ。感謝しながら残りの70日の留学生活を大切にして、ここでしかできないことをできる限り、一生の遺憾になれないと思う。



把日文投稿翻译中文的文章

手記「10」

2018.05.01

4/27 一日遠足

今日は学校の一日遠足で、川内原子力発電所に行った。他の学年に比べれば原発は真面目な話題で面白くないと思っていたが、実際に見てみると原発について詳しく学んでいて、とても充実な一日だった。

展示館に入ってから集会室で発電所紹介のビデオを見ながら九州電力のスタッフから分かりやすく紹介してくださった。展望室に移動すると発電所を一望でき、巨大な施設や機械に驚いた。そして迫力あふれる実物大原子炉模型や原子炉を守る「五重の壁」模型、そしてボタンを押すと光って電気ができる仕組みや安全システムを教えてくれるパネルなど、楽しみながらたくさんのこと学んだ。

今の日本は原発の開発について大きな課題を解決すべきである。2011年福島第一原子力発電の事故は日本人の記憶に鮮やかなように留めているから、原発への不信や懐疑を抱く人々が少なくないと思う。しかしながら、少ない燃料で多くのエネルギーを生み出せ、環境にやさしくて自然に調和しやすい原子力発電は以前よりだんだん広く活用され、大きな役割を担っているそうだ。政府にしても普通の人間にしても、資源欠乏と環境汚染に面して原発が捨てられない選択肢になる。選挙で原発の発展を抑えようとして承諾した政治家たちは、就かせてから約束を守らなくて非難の声に困らせる人が多いそうだ。

原子力発電所の安全性を民衆に普及するように、さらに信じらせるように、見学料を免除される特別の扱いがある。見学する前に私は原発に対して疑っているけれど、今発電所が取り込んでいる仕組みを聞いて、原発は我々にとって利益が弊害に上回ると考え始めた。ところが、いくら教訓を踏まえて、様々な重大事故を想定して、設備を定期的に点検したり、訓練を行ったり、安全確保に万全を期していても、意外と天災に襲われ大きな被害を被る可能性がないわけではない。そして緊急時に練習し重ねた対応手段を確実に取れないかもしれない。万が一の時にならないと、今用意した対策は整備しているかどうか裏付けられない。僅かな危険の可能性に注目したばかりだとしたら、全体的に事情を勘案できなく原発の利点を見つけられなくなる。原発は長い目で見れば、必ず我々の生活を激しく変わってくれると、私は信じている。また科学技術の進化に伴い、多様な災害防止の方法がどんどん発明されるようになる。災害時に損失の最小限になれるように頑張ることは、次の時代の課題だと思う。

発電所を見学した後、近くの公園で気持ちよく休憩した。友達と弁当を食べたり、滑り台で遊んだり、写真を撮ったりして、まるで子供のようだった。日本の女子高生は写真を撮るコツがにくい。いくつの写真でもインスタ映えになれる。皆さんどうでしょうか。(笑笑)

(原発発電所の写真がなくてすみません。)



把日文投稿翻译中文的文章

新学期の始まりーー五月病からの脱出

2018.05.06

学校が始まってから1ヶ月。気温が急に暖かくなってきて、冬服がだいぶ着られなくなって、一気に片付けをして船便で中国へ送り終わった。時々外で干した洗濯物が雨で濡れて、噴火のせいで噴き出した火山灰で汚れて、生活面は極めて不便になってしまった。4月に色々な予想外のことがあって、気持ちが晴れなくて胸苦しかった。

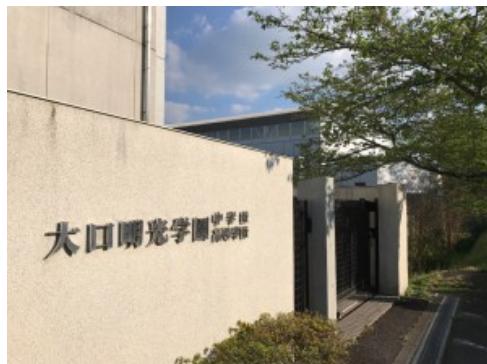
新学期または新職場に入って1ヶ月ぐらい経った後、5月に新環境を適応できなく気が塞ぐようになるという症状は、五月病だと言われている。素直に言うと、私は4月の状態があまりよくなかったから、五月病のような状態が続かないようにこの日記を書いて、プレッシャーの発散になれば、と私は望んでいる。

半年間ぐらい遅れてきた高2になった。必修科目の日本史と生物はプレッシャを感じている。日本史は古代史から始まり、文物や遺跡などの名前や地名など必ず覚えるべき内容が多い。漢字ばかりで書かれた単語は簡単だと思っていたが、「繁体字」の形で書きにくいし、地名や人名や史料も覚えにくいし、授業でも先生のお話を聞き取れなくなつた。生物は、カタカナで組み合わせた専門用語は字形だけによって意味を読み解けないし、一字一字正確に書けにくいし、勉強したくともなかなか伸びない気がした。1週間に5時間の生物と2時間の日本史は、辛さを耐えてたまらない授業になり、学業面でかつてない「苦難」に遭遇している。そして宿題は急に多くなり、時間管理が苦手な私は毎日散々に悩まされている。簡単でやりたくない数学、日本人より2、3倍ぐらいの時間がかかる国語...寝る前の1時間はとても効率的であり、幸ほぼ全ての提出物が間に合った。

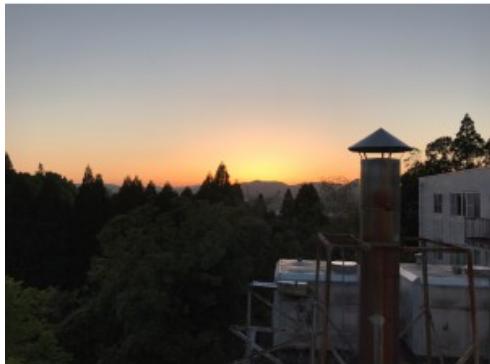
また、この前の自分に比べれば、日本語の能力が低下しつつある傾向を露にしていると実感した。言語力の欠乏に拘られて簡単な表現しか使いこなせなくて、友達と話し合いたくても簡潔に説明できなくなつて、プライドを傷つけられ大きな衝撃を受けてしまった。そして、寮で住んでいるので、ホームステイ先に比べれば話す機会が少ないわけだ。経済学の限界効用理論のように、滞日期間が長くなりつつも成長の期待値に及ばなくて、最初の大きな進歩に比べれば伸びる幅がだんだん狭くなり、一步一步を重ねて艱難になる。言い換えれば、語学のボトルネックに陥ってしまうということである。

しかしながら、「前もできたから、今も必ずできる」と考え、不必要な思想の束縛を受けるようになってしまう。そして今回の留学の間に、時点によって自分で設定した目標は変更できないわけではない。弾力性のある考え方を身につけ、各段階にある一番重要なことを探し、タイムリーな企画を作らねばならない。留学生生活の最終階段には、勉強より友達同士の交流を中心にし、他の科目の勉強より日本語の勉強を重視するべきだと思う。ここでしかできないことは、日本語で話す、そして日本で挑戦するのだろう。5月はかなり忙しくなるかもしれないが、自分への束縛を外して、適当にリラックスしながら確実に努力することは大事である。

春に入り、気温がだんだん上がってきた大口は、素晴らしい自然風景がある。真っ青な空を背景として、木々が生い茂る。心もスッキリと澄み渡っている。この狭い青空を見上げる時、私はここまで成長できるか、これから時代をどう生きるか、といろいろと考えをめぐらしている。それに闘い続ける苦しさを明日、さらに高く飛ぶ力に変えていくと信じている。







把日文投稿翻译中文的文章

ゴールデンウェークの過ごし方「前編」

2018.05.12

4/28 潮干狩り

ゴールデンウェークの1日目。国分の丁さんのホームステイ先に行った。出発する前に、帽子やビーチサンダル、タオル、水桶、スコップなどたっぷり用意した。閉会45分ぐらい前に砂浜についていたので、本番でもっとたくさんの貝を掘れるように早めに練習をした。

大会の責任者はテープカットしたところに、司会者が大声で「はいスタート！」と叫んだ。みんなは一瞬に触発されたように、まっしぐらに駆け出した。知らない人はこちらが砂浜で行う駅伝だと間違えるかもしれない。

自分のスペースを決めてから狂的に掘り始めた。周りの人も気違いのようになつた気がした。同じ姿勢で掘り続けて首が痛くて、見上げてみると、みんなは頭を低く下げているのに驚いた。私より興味津々だったからだ。そして私たちよりツールが整備された人々は多く見られた。手袋、畳椅子、杓子、それは君だけ思いつかない利器である。

練習した時は一個でも拾わなかつたけれど、区域内の貝は外より非常に多かつた。大会の主催者は予めに探測機を使って砂に埋まられる貝の多いところを探したのかと思った。

ツールは手の延長とも言える。ツールを使っても手より不便だと思った時が多い。効率を追求するためということより、気持ちよく掘りたいから、素手で貝を掻き出してみた。結果として、ツールを使う時に比べればより多い貝を掘れたが、手が海水に浸けられ、砂と擦れ合い、手の肌はかさかさしてしまつた。そして額に汗が出てきて、汚い手で拭い取ると砂が顔についてしまつた。

一つの貝を見つける時に興奮の衝撃感を与えられて、それでもう一つを掘りたくなつて、掘り出した後もう一つあればいいと思って繰り返した。閉会時間に過ぎたとしても、帰りたくないでずっと掘っていた。水桶はぎっしり詰まっていて大収穫だった。

4/29 高千穂牧場

29、30二日間は丁さんのホストマザーの知り合いさんのところでお世話になつてた。

今日は連れられて宮崎県都城市にある高千穂牧場に行つた。霧島市の隣だから、ホームステイ先から30分ぐらいで行ける場所だ。ぼちぼち外国人観光客やら家族連れやらで賑わっていた。中国語も度々聞こえて、どのようにここを知り得るのかびっくりした。

動物ふれあいランドでは、羊とふれあつたり、牛舎のジャージー牛を見たりと、しっかり楽しむことができた。そして入り口の近くに羊、牛と自由に触れ合える場所があつて、200円の餌をあげてみた。遠目から高千穂峰が見れて、景色を見ながらのんびりできた。牧場ならではのバニラのソフトクリームは味が濃厚で美味しいかった。とにかくソフトクリームを食べながらベンチで過ごすのがとても気に入る！霧島連山の麓、景色も雄大で開放的で牧場の緑はとても気持ちよかつた。

乳搾りや手作りクリームなどの体験もあつたりして楽しそうだが、残念ながら予約制ありで参加できなかつた。高千穂牧場の高台に立つと霧島連山を一望でき、この景色を見るだけでも来た価値はあると思った。自然たっぷりの環境に囲まれ、広大な緑が素敵な高千穂牧場がオススメ！





把日文投稿翻译中文的文章

ゴールデンウェークの過ごし方「後編」

2018.05.12

4/30 カヌー初体験 + 桜島

今日は丁さんと一緒に霧島市から志布志市に行った。インターネットで調べたカヌー体験がとても気に入って、迷わず車を駆って行った。

インターネットで書かれた体験料は500円で、お得だと思っていたが、実際に見に行くと、プールの中でのカヌー体験だと分かってきた。最初に少しがっかりしたが、プールで安全だし、初学者に対してもやりやすいし、爽やかな空気の中でカヌー体験が気持ちよくできた。

出発時にざっと夕立が降ってきて、体験できるかどうかと思ったが、ラーメン屋さんに昼ごはんを食べに行ってから幸に止んだ。

ガイドさんの説明が丁寧で、こぎ方も難しくなく、優雅に水面を漕いでいくつもりだったが、思った以上に舵がとれず、右へ左へ大変だった。同じところでくるくる回ったり、プールの壁とぶつかったりした。カヌーは風に影響されやすい乗り物だが、上手く進むと超楽しいわけだと思い、必死に練習し続けた。丁さんと勝負を争ってみたが、いつも負けてしまった。

濡れるかと思って着替えを用意しておいたので、びしょびしょになってから着替えて快適だった。肩や腕に残る疲労感も心地よく思えて、とても楽しかった。

体験が終わってから桜島を行った。湯之平展望所に登り、桜島の景色を一望に収めた。ここから360°どこを見ても絶景だと思う。錦江湾を挟んで西側には鹿児島市の街並みも広がっている。ちょうど噴煙をしている時に見ることができて、自然の迫力を目の当たりにした。フェリーは大変混雑で半周の遠回りをして帰ってきた。

一日中霧島市から志布志市に行って、そこから桜島を通って、大口まで送っていただいたホストファミリーに感謝の気持ちを表したい。(今日の移動距離は遠すぎる笑笑)

5/5 十曾青少年旅行村

この間、ホストファミリーの大家族は鹿児島市内や福岡から足を運んで大口まで来た。今日みんなは一緒に十曾青少年旅行村キャンプ場に来た。ぐるっと自然に囲まれた開放感たっぷりな場所だった。

ピザ作りはホストファミリーの家でしたことはあるが、ここでもう一回本格的にやってみた。一回目は野菜を載せすぎて窯に運んでいる最中に転んでしまい、また一回を作った。手作り体験やパフェ作りや絵体験もした。そして中国の「粽子」と近く、九州南部の郷土の味と言われる、あくまきを作った。餅米を竹の皮で包んで、3-4時間ぐらい灰汁で炊くということだった。「粽子」の巻き方に比べれば簡単だった。鹿児島でも色々な種類があって、北部は長方形で南部は三角形だという話も聞いた。日光を浴びながら気分が高揚になって、宿題に迫られる状態からも解放してくれた。

あくまきの写真引用: クックパッド





ふるさとを食べよう！鹿児島の「あくまき」



母のあく巻き

把日文投稿翻译中文的文章

手記「12」

2018.06.06

5/12 伊佐市町ゼミ

4月の頃に伊佐市の街ゼミを応募して、今日は初めて講座の形で伊佐市の市民に中国語を教えた。ゴールデンウィークに心を込めてスライドとプリントを用意した。応募者数は想像より少なかったが、来てくださった人のためだけでも頑張っていこうと決心した。

授業時間は1時間30分で短い。簡潔で説明しやすい言い方をするように日々の練習を重ねた。そこから難しい授業を自分なりに消化して分かりやすい言葉で人に教えることに楽しみを見出した。ユーチューブで他の中国語の先生のビデオも参考として見てみた。学芸国付のJSL教室で先生や友達に中国語を教えたことがあるにもかかわらず、講座の形で教えるのは初めてだ。授業の内容というのは、簡単な挨拶だけではなく、中国語の基本の常識や日中の違いについても幅広く紹介したのだ。

相手に理解してもらえるように教え方を考えたり、教える間に自分も成長しているような気がする。そのまとめスライドとプリントが好評で、有意義で充実な授業だったと評価された。相手からのありがとうや理解してもらったときの顔を見た時の達成感も忘れられない。私の支えとして来てくださった人にも感謝する。

5/30 聖母祭

今日は聖母祭が全校生徒によって行われた。聖母祭を行う理由は、5月を「聖母月」として大切にしているカトリックの伝統に基づいているだけではなく、聖母マリアに対する信心をとても大切にしていたからだ。今月は二十六聖人ミサや出水教会の特別ミサなど、たくさんのミサが重なったが、聖母祭は一番莊厳だったのだ。「あらゆる難闘に際しては、聖母マリアにより頼みなさい。必ず聞き入れられるであろう」とシスターから伝えてくれた。合唱部のきれいな歌声と共に、皆で心合わせ、聖母の生き方に倣うことを祈り、お花を捧げ、御保護を願った。

そして、信仰なしの私は宗教を排斥する抵抗感のある態度が穏やかになってきた。日本史の授業で勉強した天平文化のところで、「日本人は実は無宗教なのだ」ということを知った。日本人ならば誰しもが経験し、生活の一部として根付いてきた文化だが、キリスト教、神道、仏教がない交ぜになり、思えばとても奇妙な風習だと思った。結婚式を教会で挙げ、年末にはクリスマスを祝い、年が明けると神社に参拝をして、盆には寺で先祖の靈に手を合わせ、死者を弔う際は経を読み、線香を立てるなど。日本人は宗教に寛容な民族性を持っているとも言える。新しい文化を目にし、それを受け入れる傍らで、きちんとこれまでの文化との折り合いをつけ、新しい風習へと昇華していくのが素晴らしいと思う。

復活祭もすぎ、自然是新しい生命にあふれて、一年でも草花も一番美しい5月は聖母を称えるにふさわしい季節らしい。よく見かける燃え立つような紫陽花は、とても素敵で心が弾んでいる。梅雨入りとなつたが、幸いに5月にあまり降らなかつた。空気に湿り気があるので、風が柔らかくて心地よい。しかし残りの1ヶ月の留学生活は梅雨とともに曇雨天が続していくそうだ。ジメジメと鬱陶しい気持ちになりがちだが、一日一日を大事にして最高の楽しみを作つてみよう。

そして、宗教のレポートを書くために、頑張って晦渺な聖書を読み、それを基づいて自分の考えを練り上げた。レポートの写真も一緒に添付したので、どうぞご覧ください。



講師：大口明光学園高等学校 2年 韓 滉澤

講座の内容を確認しておきましょう！（重要なポイント）

1. 日本語：こんにちは。

中国語：你好。

∨	∨/＼
ニー	ハオ/ハオ

2. 日本語：おはようございます。

中国語：早上好。

∨	＼	∨/＼
ヂオ	シャン	ハオ/ハオ

3. 日本語：こんばんは。

中国語：晚上好。

∨	＼	∨/＼
ワン	シャン	ハオ/ハオ

4. 日本語：よろしくお願ひします。

中国語：请多多关照。

∨	—	—	—	＼
チン	ドウオ	ドウオ	グアン	ヂャオ

5. 日本語：ありがとうございます。

中国語：谢谢。

＼	＼
シェ	シエ

6. 日本語：さようなら。

中国語：再见。

＼	＼
ザイ	ジイエン

7. 日本語：すみません。

中国語：对不起。

＼	/＼	∨
ドワイ	(ドウエイ)	ブー/ブー チー

8. 日本語：大丈夫です。

中国語：没关系。

/＼	—	＼
メイムオ	グアン	シー

9. 日本語：おやすみなさい。

中国語：晚安。

∨	—
ヲン	ヲン

10. 数字の言い方：

1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10

666=? 521=? 1314=?

Notes :

WPS OFFICE
最初から全文表示

11.自己紹介!

Notes :

スキマ時間の中国語学習アプリ・おすすめ

#1 「超・中国語耳ゲー＜ピンインゲームで耳を鍛えよう♪」



おすすめ度★★★★★ ダウンロード：iOSのみ（無料）

中国語の基本である発音・ピンイン・声調をトレーニングし、「中国語の耳」を鍛えるためのアプリ。画面

をタップすると音声が再生される音節表と、ピンインクイズで構成されています。

#2 「NHK ゴガク 語学講座」の「中国語：声調確認くん」



おすすめ度★★★★★ ダウンロード：Android / iOS（無料）

NHKの語学講座が提供する、声調の特訓したアプリ。NHKのテレビドラマの中国語講座と連動していて、毎週番組の中で出てきたキーフレーズの発音と声

調が確認できます。お手本の発音に合わせて、自分の声で音節を複数回読み上げると、声の高さの

軌跡が表示され、お手本と自分の声調の正確性を観察的に確認することができます。また、自分の発音をチェックしてもらう機能が付いています。

#3 「ChineseConverter 中国語ピンイン変換」



おすすめ度★★★★☆ ダウンロード：iOSのみ（無料）

中国語（漢字）を入力するとピンインに変換してくれるアプリ。片言なら一文字ずつ

ピンインを調べなければならないような人名、地名、料理名なども、一発変換で

ピンインが分かります。「ピンインが分かる」ただそれだけのアプリですが、結構役立つ

中国語講座

大口明光学園高等学校
韓浜澤

自己紹介

1

- 名前：韓 洋澤
(かん りょうたく)
- 姓氏：韓 洋澤
(han yangze)

2

- 日本語学習歴：5年
- 「心連心」中国高校生
訪日事業
- 日本の大学へ進学予定

3

- 出身：遼寧省瀋陽市
- 東北育才学校 2年生



方言がある？

- 標準語：北京語
- 方言：上海話、広東話など
- 簡体字の使用：中国大陆
- 繁体字の使用：香港、マカオ、台湾

✓ 民族言語：モンゴル語、ハングル語、チベット語など



特徴

音節(2音節)	
b p m f t d n l	g k h j q x zh ch
sh r z c s y w	zh zh zh zh zh zh
a o e u i i i	u i o e a i e i
ü ü ü ü ü ü	ü ü ü ü ü ü
er er er er er er	er er er er er er
ang eng ing ong	ang eng ing ong
zhí chí shí rí zí	zhí chí shí rí zí
sí yí wú yú yé yín	sí yí wú yú yé yín
yun yuen ying	yun yuen ying

ピinyinの仕組み

ピinyin = アルファベット + 音調
|| ||
子音 + 母音 音の高さ

例)
日本語：こんにちは。
中国語：你好。 ni hǎo

ニイ ハオ
あなた よかったね

ピinyinの仕組み

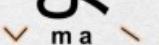
第一声

中国語：媽
日本語：ママ



第三声

中国語：馬
日本語：馬



第二声

第四声

中国語：麻
日本語：麻



挨拶

日本語：こんにちは。
中国語：你好。

日本語：おはようございます。
中国語：早上好。

日本語：こんばんは。
中国語：晚上好。

日本語：よろしくお願ひします。
中国語：请多关照。



挨拶

日本語：ありがとうございます。
中国語：謝謝。

日本語：さようなら。
中国語：再见。

日本語：すみません。
中国語：对不起。

日本語：大丈夫です。
中国語：没关系。

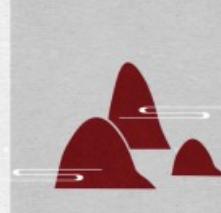
日本語：おやすみなさい。
中国語：晚安。



短文

日本語：私は...
中国語：我...

例)日本人、学生、老师



日本語：S+O+V

中国語：S+V+O (実語と一緒)

例)日本語：私はご飯を食べました。
中国語：我吃饭了。

数 1 2 3
字 4 5
6 7 8
9 10



手書きを使いながら勉強しましょう！

中国語の構成？

日本 = 漢字 + 平假名 + 片假名；中国 = 漢字！

1

2

3

4

- | | | | |
|---------|--------------|----------|-------------|
| 春=スプリング | 日本語：テレビ | 日本語：納豆 | 日本語： |
| 主題=テーマ | 中国語：電視（電視） | 中国語：納豆 | …か？（疑問） |
| 試験=テスト | 日本語：ドライア | 日本語：文化 | …ね～（確認） |
| | 中国語：吹风机（吹風機） | 中国語：文化 | …吗？ |
| | 日本語：カレンダー | 日本語：文化 | …啊！ |
| | 中国語：日曆（日歷） | 中国語：文化 | …中国語：基础（基礎） |
| | 日本語：タング | 日本語：ドキドキ | |
| | 中国語：撲克 | 中国語：基础 | |

自己紹介をしてみましょう！



わからない単語があれば
どうぞ聞いてください！ 😊



ありがとうさげもしたー



謝謝！

② 中国人留学生が教える！ 初めての中国語

小学生
以上



- 講 師 中国人留学生
- 場 所 大口光学園
- 予 約 要予約
- 定 員 10名 (小学生以上)
- 受 講 料 無料
- 申込締切 前日まで

初めて中国語に触れる方大歓迎！本校の留学生2人が簡単な中国語を教えます。また、中国語と日本の文化の違いなどクイズを通して楽しく学びましょう。

大口光学園

佐伊市大口里1830

<http://www.okuchimeiko.ac.jp/>

（0995）22-0609 (担当:田中)

～開催日時～

5/12土、5/19土
14:00～15:30



私達の修身生活にとって、折りは欠かせないものです。しかし、「折りとは、何でしょう。折りの目的は、あるのでしょうか。」と迷っている人は少なくと思います。そこで、折りについて調べたないと感じたことを述べてていきます。

折りは、主イエス・キリストによって神様と和解させられたクリスチヤンが、神と交わることであり、私達は、折りをして曰く神様から恩典を受けるのです。

素直な子供が、父親に何でも喜んで話すように、私達も天の父なる神様に、何でもお話しし、願い、感謝し、想い改めましょう。そもそも神様は私達の全てをご存知ですから、神様のみ前に隠すことなど一つもありません。（マタイ福音書5章）神様は、全てをご存知の上、なお私達がそれを自覚して神様のみひとりに近づくことを求めにあらるのです。また、小さなこと、一見つからないようなことでも、何でも具体的に神様にお祈りして良いのです。例えば、「神様、～さんを祝福して下さい」と祈るだけでなく、どのような形で祝福してほしいのです。

そして、折りは神様との会話をすから、私達の側から一方的に言いたいことを言い放題言って、それだけでは終わりにしてはいけないです。折りの中では、自分の體（を語るだけではなく、神様の脳を賛美し）つまり、願うことが不可以です。また折るごとに同時に、神様の勧えを受け止めることも大切です。そのようにして、私達は自分の願いをはるかに超えて素晴らしい神様のみわざに自分が開かれるのです。イエス様が折つのように「～して下さい。しかし、私の願いは～でなく、あなたの心のようになります下さい」（マタイ福音書3章39節）という姿勢を持つことが大切なことです。

「誇る折り」に比べてこの「聞く折り」は、そう簡単に身に付くものではなく、長い折りの日々の積み重ねと、誠摯の中で次第に身に付き、開けていく後の世界だと思います。実際に折る時に、どんなことを意識したらよいのか、折りの目的を考えながら確認しておきましょう。

第一の点は、心を置く事だといふ事です。二の三こどもは非常に嬉しい命まで書かれ、「心を整える事を絶対にしない。」という意味があります。どうしてこんなに厳しく教えるのでしょうか？実は、この世には多くの動かされる事があり、心を整えないでいる事ができなくなってしまうからです。そうならない為に、私たちは信頼によって自分の心を後していく事が求められているのです。そして、心を整えると喜びは生まれます。内なる御靈によつて折るるよりは教えられるのです（エバノラ第18節）。

第二の点は身を懐むといふ事です。身を懐むとはどんな事を言うのでしょうか？この言葉には、折りの為に「正気を保つ」という意味があります。つまり、やりたい事をあえてしないで持てるという要なのです。どこかが現れは身を懐むことが難しいです。誇張が過ぎでています。そうした私たちに、イエスは「誇張に恥らないように、目をさまして、折っていないかい。」（マタイ福音書4章）と申じます。それは、誇張に恥じて自己判断なくなるからなのです。では、イエスはどうだったのでしょうか？誇張に恥らず、身を懐んで折りました。私たちはこのイエスに恵む者（キリスト者）なのです。折る為に身を懐む事をこのお方から教わるべきなのです。

筆者は折りについて多くのことを教えてくれています。また筆者は、私達の折りを正して、神様のみ心にかなうように導く働きをします。カトリックは「筆者は、折りの実業である」と言っています。

私達はこの實業によって、折りを教えられ、折りを正され、折りを成長させて頂くのです。

私達は、折りについて学び続けて、折りにおいて成長し、神様と楽しく交わる豊かな折り、無い折りを目指しましょう。

把日文投稿翻译中文的文章

手記「11」

2018.06.06

5/23 明光杯英語暗唱大会

明光杯英語暗唱大会は前からずっと続いている学校の伝行事だ。生徒はディズニー映画のセリフから選んだ約300語の英語をひとりで暗唱する。全校生徒でクラス予選を行い、校内大会で優勝を目指して英語の発音やインтонашннを磨く。そしてクラス予選の成績は期末試験に含まれるので、みんなは自分のベストを尽くして練習を重ねた。私が大会の司会を務めさせていただくのが決められたことを知ってからも、みんなと同じように頑張って原稿を暗記し終わった。

ちなみに写真に私が少し映っているけれど、皆さん探してみましょうか。(笑笑)

1

(CH2) *The Night Before*
...and headed over to Nick's house.
"What did you say I needed to do?" asked Nick.
"I just wanted to see if you were up with a couple of his friends."
Nick should have known the stars were up with the
whole neighborhood early as Nick checked his hand. "What are you doing
over here?"
"I'm not here to see them," said Leon.
"You wouldn't just run one little competition where no one could see me?"
"I just asked him what he didn't want to be seen with no other than we
guys, that's all," Leon said.
"What? I just got a London," said Nick. "I've been school."
"London? No, London," Leon repeated.
"London?"
"You can make a living there," Leon explained.
Leon was still in his pajamas, which he had been wearing since leaving his
house early. By now it was Nick's place. The second bed had three pillows
had four and Nick had a new one. "Leon, how's it goin'?" Leon began to sit.
"How's it goin'?"
"It's goin' good," Leon said, sitting up.
"Party's over though," Nick said.
"I just wanted to see if you were up with a couple of his friends," Leon said.
"I just asked him what he didn't want to be seen with no other than we
guys, that's all," Leon said.
"What? I just got a London," said Nick.
"I've been school."
"London? No, London," Leon repeated.
"London?"
"You can make a living there," Leon explained.
Leon was still in his pajamas, which he had been wearing since leaving his
house early. By now it was Nick's place. The second bed had three pillows
had four and Nick had a new one. "Leon, how's it goin'?" Leon began to sit.
"How's it goin'?"
"It's goin' good," Leon said, sitting up.
"Party's over though," Nick said.
"I just wanted to see if you were up with a couple of his friends," Leon said.
"I just asked him what he didn't want to be seen with no other than we
guys, that's all," Leon said.
"What? I just got a London," said Nick.
"I've been school."
"London? No, London," Leon repeated.
"London?"
"You can make a living there," Leon explained.



41 Okuchi Meiko Gakuen
English Recitation Con



把日文投稿翻译中文的文章

手記「13」

2018.06.09

6/8 合唱コンクール

今回の合唱コンクールで最優秀賞が取れてとても嬉しかった。そして最優秀伴奏者もうちのクラスの子が選ばれておめでとう！

課題曲はアカペラの「ずいづいすころばし」だった。最初の時に歌詞の意味が全然知らなくて、インターネットで調べたり、友達に聞いたりしたが、今でもはっきりとわかっていない(笑笑)。前後の意味が全くつながらないので私にとって覚えることは大変だったが、テンポと語呂の良さでこの曲が好きになってきた。

自由曲では、「A Whole New World」を歌った。うちのクラスにはディズニーが大好きな子が多くて、それでディズニーのアニメーション映画『アラジン』で用いられたバラード曲を選んだ。歌詞が英語だが、協力して覚えた。正直に何十回歌った後、私みたいな頭が悪い人でも自然に覚えるようになるはずだ。(笑笑)そして伴奏者を除くとクラスが9人しかいないが、レベルの高い3部にも分かれる合唱曲を選んで、どのパートでもたった3人しかいないことは大きな挑戦だった。練習に練習を重ねた合唱は大変完成度の高いものとなり、多くの人に感動を与えることができた。

休憩時間の時に「イントロドン」をやった。それは曲の一部を聴いて、曲名をズバリ当てるゲームだ。生徒だけではなく保護者の皆様も一緒に参加し、楽しめながら会場の雰囲気が盛り上がった。特に前校長先生が当てはまつ時にみんな大歓声をあげた。そしてゲスト演奏を担当してくださったのは、音楽科の非常勤講師の本蔵先生だった。普段なかなか聞くことのできない日本の琴の音声に驚いた。そして音楽の赤崎先生と一緒に演奏したピアノと琴の合奏は心地よいハーモニーを会場いっぱいに響かせてくれて、楽しんで音楽に耳を傾けた。

2週間前から今日までみんなで一生懸命練習てきて、乗り越えて迎えた本番を精一杯頑張った。朝自習か昼休みか放課後に歌の練習をして、毎日1時間ぐらいの練習は効果的だった。正直に言うと、私は結構練習してきたから、本番の時に喉が痛くて声をなかなか出せなかった。その悔しみが残った。声が小さい人と大きい人の差が見えるようになってきて、(ちなみに私は大きすぎるの方)お互い注意し合うことになり、自分が言えなかったことも言い合ってだいぶ変わったのに感心した。1週間前まではクラスがなかなかまとまり心配していたが、最後に想像以上の団結さが見られた。「歌練しよう」と一人が声をかけると、クラスの全員は速やかに集合することもできだし、練習をサボる人が一人でもいなかった。

けれど今日は予想外の事態があった。最近、私は音に敏感になり、大きな音を聞くと頭が痛くなって耐えられないぐらいだからだ。今日は仕方なく合唱コンクールなので、我慢しようと思っていたが、会場に行ってから大きな音に囲まれると具合が急に悪くなかった。顔色が悪い私のことを気づいた友達は、先生を呼んでくれたり、私を連れて外に行ったりして色々助けてくれた。残念ながら中学校の部の頃に休んでいて聞かなかつたが、後半の時に会場に戻ってたくさんの素晴らしい歌を楽しめた。

さらに、今日の本番を迎えるまでには、各クラス様々なドラマがあったと思うが、練習が上手くいかなかったり、仲間とぶつかり合ったり、高2A組みたいに欠席の方が多かったり、その一つ一つが我々にとって大事な宝物となり、これから生きていく上で糧となってくれることと信じている。どのクラスもそれぞれの持ち味を生かし、クラスのカラーが感じられる素晴らしい演奏だった。クラスとしてのまとまりや仲間意識の高まりを感じさせ、とても清々しい感動があった。この歌声がクラスを進めるごとに充実した響きとなり、進化していくのが楽しみだ。

今日は素敵な音楽を、本当にありがとうございました！そして、お疲れ様でした！



平成30年度 校内合唱コンクール

日時 平成30年6月8日(土) 13:30~16:00(終了予定)

会場 大口ふれあいセンター3F 多目的ホール

会場 1 開会の言葉 1 高等学校の部 演奏

2 校長先生のお話 2 優秀賞

3 総合基準の説明 評議

4 校歌合唱 4 優秀発表および表彰

5 中学校の部 演奏 5 優秀賞

6 高校3年生合唱 6 開会の言葉

【詳細】 小中学校の部「大切なもの」(女声二部合唱)

作詞・作曲 山崎 潤子

♪高等学校の歌「すいせいすいこうげい」(女声二部合唱・ア・カペラ)

わくべうた / 编曲 指挥 田

把日文投稿翻译中文的文章

「韓」流勉強法を紹介！～第一弾～

2018.06.20

まず注意すべきのは、これらの勉強法は韓流ではなく、「韓浜澤」流の勉強法だ。皆さんと同じようだが、私もちょっとした空き時間にスマホに手が伸びる癖がある人だし、たまにスマホの使いすぎて後ろめたさを感じている。そこからスマホを使いすぎている気がして、遊ぶ時間も減らしたくないし、長時間に集中できないし、それでも効率よく勉強を終わらせてから思い切り遊びたいとしたらどうすればいいかと考え始めた。世間には、記憶術や勉強法に関する情報があふれているが、外国人の我々は、日本人の中で流行っている勉強に拘らず、自分なりの勉強法を身につくことが大事なので、これらの文章は私の勉強法を少し紹介させていただきたいと思う。今回は生物について詳しく説明するので、少しでも皆さんの役に立てばと願っている。

・自分なりの教科書とノートを作る(これはどの教科でも共通のコツ)

授業中でノートに書いたことは、繰り返し見返さないと記憶に定着できない。「先生が黒板に書いたことを、ただ綺麗にノートに写している」というパターンの人が多いと思う。けれど、まるごとに先生の板書を写す事は賢いことではない。書き写すことだけに意識が集中しすぎると、その意味合いや大切なポイントなどを聞き逃してしまいがちだから。そして板書の内容は大体教科書に載せているから、先生が言った大切なことだけ教科書に直接書き込んだら余計な事に時間を費やす時間を節約できる。

そして教科書とはいえ、分かりにくい説明もある。分かりにくい内容に補足を加えるように、教科書の余白に書き込めばいい。教科書を読むと同時に補足にも目を通すことになり、理解の助けになる。もちろん教科書でどうにもならないならノートにまとめればよい。ただ私はとにかく教科書を何度も見て少しでも頭に入れられる。

さらに、私が好きな勉強法はアウトプットしたものを見るという作業だ。自分の記憶の内容を知るためにもう一回ノートを整理して、今頭の中にあることを確認しながら進めるというのだ。また教科書を一通り読み終わったら、何を暗記すればいいのかを知るために、授業用ノートと問題集を併用して、そこから重要なところを簡潔にまとめノートに書き留める。なぜなら、それこそが見直す必要があるところだ。自分の弱点を試験直前にしっかりと見直すことで、同じような問題が出て来たときに同じ間違いをせずにすむので、成績がどんどん上がっていくに違いない。そしてノートをパッと見返したいならば3色程度に抑えて、どこが重要か、どこを間違えやすいのかを一目でわかるようにしたほうがいい。

・理解しながら暗記

また「暗記」という表現もあまり適切ではないのかもしれない。どの教科でも「暗記」ではなく論理性が含まれる「理解」の要素が多く含まれている。例えば、遺伝子の正体がDNAであることを証明できたまで、「①グリフィスの実験」で形質転換ということが示され、「②エイブリーの実験」で形質転換を起こす物質がDNAであることが示され、最後に「③ハーシーとチエイスの実験」で遺伝子の正体がDNAであることという流れで学ぶことになる。

この「実験」とその結果を覚えることはいわゆる暗記にすぎない。しかし、生物において重要なのは、こうした事実の暗記ではなく、その実験においてどのような操作を行ったか、また前の実験に比べてどこが進んでいったか、理解しないと意味がない。

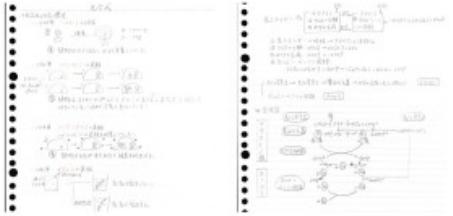
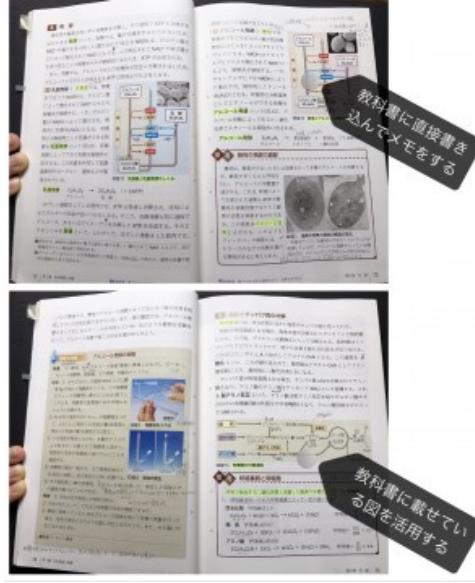
・図を上手に使って暗記

生物は図がとても多くて、言葉で説明するよりも絵で覚える方が早い。図にはたくさんの情報が含まれているので、これを使って暗記していくことで色々なことを覚えられる。まず資料集をそばに置いておく。これは絵とかあったりカラフルなので何となく見ておくだけで何となく頭に入ってくる。

そして自分がノートに図を移すことよりは、私は教科書に載ってある図の上にノートを書くのが好きだ。なぜかというと、私は絵が苦手だから図をうまく描けなくて、汚い図を見ると覚えにくくなってしまったのだ。反するに、教科書はカラーでポップなイラスト付きで解説してくれ、綺麗なイラストや図で視覚的にまとめる事が出来る。

今週は留学生活の中での最後の期末試験が終わる。来週は進研模試。高1・1月の進研模試で三教科総合の偏差値は74で鹿児島県内の61位になって、11月の模試より偏差値を6アップさせた。びっくりした成績だったが、私は結果を出し、かつ、さらにより良い成績になろうと高みを目指している。

さらに留学生の我々にとっては、馴染んだ環境から離れ、この前全く知らない知識を触れ始め、そして日本語で勉強するのは想像以上の難関を通り抜けづらいと思った時があるだろう。今学んでいる知識は中国に帰ってからあまり役に立たないし、真面目に勉強しなくてもいいと思う人がいるかもしれないが、将来日本の大学を目指す人にとって、この考えを切り替え、勉強の第一歩を踏み出すべきことは大事だと思う。



コード/会員	全国			近畿圏域内			近畿			G12	
	平均点	偏差点(±1.5点)	平均点	偏差点	偏差点(±1.5点)	平均点	偏差点	偏差点(±1.5点)	平均点		
総合評議会	200/300	73.9	7.818/473.386	99.2	74.0	61 / 5.948	102.7	74.2	1 / 22	104.9	52
国連	114/220	87.8	25.381/475.440	67.9	68.6	237 / 5.995	65.5	67.9	3 / 22	74.0	53
教育委員会	163/220	88.2	1.870/473.816	63.8	80.5	6 / 5.956	67.6	74.8	1 / 23	73.8	61
国語	37/100	51.5	200.488/476.026	35.3	60.8	2.982 / 5.978	36.0	55.7	7 / 22	31.9	62
数学	89/100	77.4	2,715/474.422	31.2	78.4	27 / 5.076	35.0	76.9	1 / 23	31.6	51
英語	77/100	78.1	5,340/476.193	32.6	80.5	33 / 5.971	32.8	69.1	2 / 23	42.2	52

高1・1月模試

把日文投稿翻译中文的文章

私を変えた全国大会

2018.06.24

今回の日本語弁論大会は、私にとって初めての挑戦ではなかったが、非常に苦労したのは今回の大会しかなかった。以前からスピーチをすることが大好きで、中国でも鹿児島の県大会でもたくさんのプレゼンを発表したことがあるけれど、いざとなると大きな問題があった。それは「何をテーマに書くか」ということだ。今回も締め切りまでにずっとすっきりとしない気持ちだった。

最後には、「自分にしかないもの」と考えたとき、私の経験談に基づいた「先入観の怖さ」を語りたいと決めた。そして「ドアと道」という巧妙な比喩と融合し合い、わかりやすく説明できるようにした。スピーチのテーマは「心を繋げるどこでもドア」だ。ドアもんとは全く関係なく、ドアは、国家の立場に影響された先入観という意味で使っている。そして先入観というドアを打ち破るように、お互いに国を訪れ、知らないことを念入りに調べることで、眞実がわかるはずだ、ということを述べた。

ビデオ審査に向けての練習中も、まだ自分に引け目を感じていた。「私の日本語は全国大会に通用するレベルなのか。私の考えを公にすることはちょっと...」そんな想いもあった。でも、全国大会出場が決まったとき、やっと自分の努力が報われたような気がして、本当に嬉しかった。自分への不信も含めて、それまで悩んでいたことが全て、自分の「強み」に変わってきた。

全国大会に出場することが分かってからは、先生方とさらにたくさんの練習を重ねた。一つ一つの発音やイントネーションを直すのはとても難しく、「中国人」や「不当報道」などの発音は、なかなか上手にできず、何度も悔しい思いをした。でも、先生方が細かいところまで丁寧に、時には厳しく教えてくださったので、だんだんきれいに日本人らしく発音できるようになった。先生方に指導していただいた時間がとても楽しく充実した。

そのときから、全国大会は私の中で楽しみな存在になった。全国大会に集まつた人たちは皆、私と同じように、自分にしか分からない経験をした人たちばかりだった。そんな人たちが同じ舞台に集つたことは、奇跡のようにも思えた。夢のような2日間だった。

大会当日、朝は会場でリハーサルをした。会場の様子を見て、壇上に上がる過程や礼儀作法を再確認した。インタビューを受けてから緊張感に巻き込まれ、一人でトイレに行って練習を重ねた。大会直前に、応援に来てくれた梁くんと五味先生と会って、心強くなった。

午後から大会が始まった。私は出場者の4人目だ。残念ながら以前の練習の成果を発揮できなく、途中で原稿を忘れてしまったり、言い間違えたり、悔しかった。でも他の参加者たちが発表した非常にいいスピーチを聞いて、とても感心した。私より茶道に詳しくて茶道の素晴らしさを深く掘り下げたドイツ人、視野が広くてたくさんの体験を重ねた韓国人、戦争について感情を込めて語ったシリア人...みんなの話に私の世界の扉を開いてもらつた。そして、扉の向こう側へ続く世界向けの道の先で、より良い自分と出会えるのか、今は遙か遠く見えないが、夢を決して諦めない、強い意志と共に挑み続けたいという気持ちが以前より強まつた。

努力が足りないと自覚している私はもちろん入賞できなかつた。賞は準備がある人のために用意したものだから。賞を取つた人達にお祝いを申し上げ、入賞を問わずみんなは楽しくて喜んだ。

大会が終わつてからレセプション会があつて、妃殿下や審査員とお話をし、壱岐神楽を楽しめた。時間が短くてあまり食べられなかつたので、出場者の韓国人の建言で一緒に盛り上げ会を行つた。

飲み会で最も印象に残つているのは、ゲームで雰囲気を盛り上げるよう、ロシア餃子を使ったロシアンルーレットのゲームをしたことだ。ひとつだけ唐辛子入りの餃子などを食べる人が当たるゲーム。じゃんけんで勝つた順に、餃子を取つていく。そして「せーの」の掛け声とともにみんな一斉に飲んでもらう。私は唐辛子入りの餃子を見事当たつた。思った以上に唐辛子の量が多くて、むせこむわ、涙が流れるわ...みんなが爆笑していたが、私にとってそのときは喜ぶどころではなかつた。

レストランから出て、帰り道でみんなはトンネルで踊りながら大声で歌つた。その中で特に韓国人とドイツ人のオペラ二部合唱は相性が抜群だつた。大会向けに練習した日々のイラライが全部吹き飛んでいてスッキリした。歌詞やメロディーに乗つて気持よく歌う事で、自分の世界に浸つた。道路トンネルは人気がなさうだが、照明でみんなの顔を黄色く見えるようになった。

だが、こんな暗いトンネルで、こんな歌声が聞こえてきたら通れないね。しかも、変な動きしているし...まるで「百鬼夜行の絵」らしい。

日曜日に綺麗な海と美味しい食事に大満足した。辰の島へ上陸し、エメラルドグリーン色の海に、岩壁の狭間に続く道など、絶景に終始釘付けだつた。きれいなコバルトブルーの海と松の緑は良くマッチしている。特に、船の下が透けて見える、透明な海の風景は圧倒的に群を抜く綺麗さでノックアウトされてしまった。海に浮かぶというより、海と空の間に浮かぶ感じだつた。そして、梁くんと再度出会つた。中国語で楽しみや苦しみを分かち合い、「残り1ヶ月半だからお互いに頑張ろう」と約束した。

大会に行く前に、地元の新聞のインタビューに受け、英語の全国大会に出場するクラスメートと共に新聞に載つた。日本の新聞の記事になるなんて人生初だ。学校から出発の時、高2B全員から応援メッセージをもらつた。そして壱岐島から帰つたあと、ホストファミリーの方は、わざわざ新聞を切り取つて、何枚くらいコピーして、私が帰宅する前にサプライズを用意してくださつた。感謝と感動の気持ちでいっぱいだ。先週南日本ラジオに生出演して、昨日大会の様子はEテレで放映された。まだまだ小さい一步だが、少し認めてもらつた感じでとても嬉しかつた。

全国大会を通して、自分の伸びるところをたくさん見つけられた。「日本人じゃないの」と思えるほど日本語がペラペラの人達と出会い、やはり日本語の勉強も頑張らなければ、と強く決心した。そして初めて出会つた外国人同士と仲良くする方法も身につけなければ、と考えた。人見知りで、話しかけることが苦手な私は、世界の舞台に立ち上がるためにもっと積極的である態度を取らなければならない。そして難しい話一部の人だけにしかわからない話は避けるようにして、みんなで盛り上がる共通の話題を心がけるということが勉強になつた。

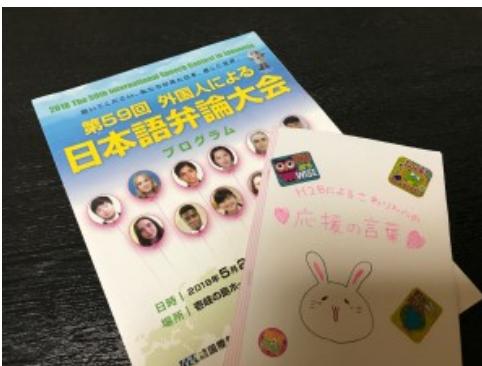
このようなチャンスを与えてくださつた皆さん、そして、この弁論大会に出場するにあたつて、私を支えてくださつた皆さんに心から感謝する。ありがとうございました。
(△▽△)

余分の話だが、ある記憶をさっきの一瞬に思い出した。初対面の時、「こんにちは」笑顔で交わすクラスメートとの挨拶。私は「好きなモノは、ラーメンとお寿司と、チキンです」と堂々と言った。自らの誤りに気付いた私は、慌てふためき「ごめんなさい」と口にしながら頭を下げた。それでもクラスメートの笑いは止むことはなく、私も釣られて吹き出した。私の日本語の表現が、伝えたい事柄と全く異なるから、日本に来たばかりの頃、よくクラスを笑いの渦に巻き込んでしまっていた。言葉遣いを間違えても、単語が分からぬ時自身の滑稽な姿をみんなと共に大笑いした。

日本語が苦手で言葉も切れ切れに話す過去の私が記憶に生き生きと浮かんだ。そんなに私は皆さんには、新たなる自分へと一步踏み出す勇気を渡してくれた。

正直なところ、一年間で日本語が完璧に話せる様になったわけではない。最近私は「かに」と「ウニ」を混同して見せものになってしまったこともある。しかし、一年間という期間は私が日本語を躊躇なく使えるようになる、日常会話では困らない、そして、日本人に気軽に話しかけるようになるためには十分な期間だった。実際に留学してみると、中国との違いを発見できるのが毎日楽しくてしょうがない。特に感動したのは日本人の人柄・性格で、中国人とは違う幸福感、サービス精神、謙虚さを持っていた。そして、たくさん日本人の優しさに触れることができる。留学で得られることは、中国だけについては絶対に得られるものではない。日本で出会った人々が届けてくれた大切な宝物を胸に抱き、頂いたたくさんの恩情を力に変え、未来に向かって歩いていく。











把日文投稿翻译中文的文章

手記「14」

2018.06.24

6/23 鹿児島水族館

かごしま水族館は九州最大規模の水族館で、鹿児島を取り巻く美しい海の素晴らしさ、その海に暮らす生きものたちの生態を余すところなく紹介するところだ。

以前はジンベイザメがいる水族館だが、新聞の記事を読んで、最近搬入予定によりジンベイザメを見にいこう~という目的で行ってましたが、行った際ジンベイザメはまだ来てないと知って残念だった。そして水族館は桜島フェリー乗り場の隣りだが、この前桜島に行った時全然知らなかった。

中国人の旅行客が見えており、ちょっと賑やかだったが、玄関からすぐで大きなパノラマ水槽がある。廊下奥にも多彩な展示の魚があり、一つ一つのケースをゆっくり眺められた。迫力満点だった。

また、16時からのイルカショーを観た。参加型のイルカショーはとても充実しているので楽しかった。イルカってびっくりするくらい高くジャンプした。でもそのジャンプの瞬間を写真に撮るのが難しくて何回もチャンスを逃した。ジャンプしたと思ってシャッターを切るともうイルカは水の中で、写真には水しぶきしか写ってなかった。

館内は予想通りの混雑だったが、水生動物とのふれあいコーナーがあったりして結構、楽しめた。普通の週末だが、夕方だとお客様が少なくて、ゆっくり観覧出来るのでおススメだ!

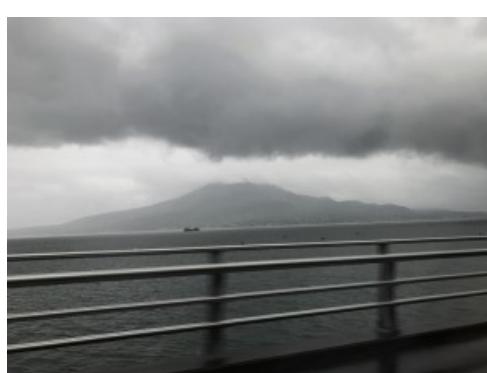
展望休憩場からは桜島の雄姿が眼前に広がった。今朝の鹿児島方面は霧に包まれ、桜島もいつもとは違い神々しい姿に見えた。空は黒と灰色を織り交ぜたような色で、いつしか色を失っていたようだ。鬱陶しい霧囲気は心が渙んだ。追いかけるほど遠くなる、先の見えない毎日を手に入れたくて、暗闇の中でひとつの光を探していた記憶が蘇った。そこから私は自分の光だし、自分を救うのは自分しかないとわかってきた。

ところが、一日中ずっとお姉ちゃんの言葉に心が動かされた。それはイルカショーを見てから、お姉ちゃんが「イルカが可哀想だ」と、ため息まじりに言った。

私は動物の権利について考えたことがあるけれど、今回お姉ちゃんの言葉に触発された。イルカは、高額なお金で世界の水族館と取引され、残酷にも一生パフォーマーとして、壁にとじ込められる生活を余儀なくされるのだ。人間のお金のために覚えさせられた演技をさせられる。お腹が空いて食べたいから、つまらなくても、同じことをさせられ働かされている。なぜなら、正しいパフォーマンスをしなければ、エサがもらえないから。

人間の娯楽のために、動物園の動物たちは、本来持っている全ての権力が奪われているのだ。自然の中から引き離され、ガラスに囲まれた自由のない空間で自然の行動パターンを奪われた状態で育たれ、時には食べ物を餌に厳しく調教される。娯楽を提供する事によって、動物園を訪れる人を楽しませ、動物園関係者は利益を得る。

娯楽が動物たちの権利を奪い、苦しめる正当な理由にはなりえない。弱い立場にある動物を犠牲にした、非人道的娯楽は現代の社会に必要はないと思う。





把日文投稿翻译中文的文章

修学旅行を終えて

2018.07.06

3泊4日の修学旅行が無事に終わった。私が特に印象に残っていることは二つある。

一つ目は旅館での時間だ。思ったよりも豪華な食事でびっくりした。また、部屋で喋ったり。ふざけて遊んだりして、とても楽しかった。今回の旅行はこのメンバーで行く最後の旅行で、私は最後の旅行にふさわしい、最高の思い出を、最高の仲間たちと作ることができた。旅館での時間は本当に大切な時間だったと、今になって強く感じている。そのせいで寝不足になり、修学旅行が終わった今非常に疲れを感じているが、一生忘れることのない思い出だった。

二つ目は三日目の班別活動だ。いろいろあったけど、私は全てが自分にとって大事な体験で、大事な時間で、大事な思い出だったと思う。京都は都会的に見えて、実はたくさんの自然に囲まれていて、昔から続いてきた文化があふれている場所だということを知ることができた。しっかりとルールの中で活動しながら色々なところを見て回った。また、お土産をたくさん買ったり、おいしいものを食べたりして盛りだくさんな一日だった。初めての京都の町、少し迷ったりもしたけど、そこはチームワークの力で乗り越えることができた。この一日のことがとても幸せな思い出に残っている。

今回の修学旅行で多くの日本人の優しさに触ることができた。友達はもちろんだけど、道を教えてくれた京都の方や、世話をしてくれた旅館の方など、たくさんの人に助けてもらって楽しい時間を過ごした。また、友だちの大切さや、協力することの重要さを学ぶことができた。留学生活に最後の修学旅行は、一生忘れられない三泊四日だった。

そして今回の修学旅行を通して、少しだけ九州と関西の教育や文化の違いを見た感じがした。今回の研修では京都と奈良しか見ていないが、街並みも言葉も人々の動きも、自分たちの九州とは何もかも違うと思った。やはり京都は「美」へのこだわりが強いのか、包装一つにも小さな工夫がなされており、見るものすべてが勉強になった。関西の人達は自由奔放な性格の人が多いと思っていたが、実は繊細な性格の人が多いと改めて再認識した。

またいつか(紅葉の季節は一番よさそう)関西に旅行に行きたい。そしてひとり旅で、ローファーではなくスニーカーで行って、ゆっくりと旅をしたい(笑笑)。





把日文投稿翻译中文的文章

手記「15」

2018.07.08

6/27 春日大社

バス停からしばらく木々に囲まれた静かな参道を歩いていった。時々鹿も寄ってきて、とてもかわいかった。想像以上に鹿が多くいた。私は鹿せんべいを買ったが、鹿がすごい勢いでせんべいを奪って食べて、一瞬で無くなるみたいだった。場所によって鹿は人がせんべいを持っていると思って近づいてきたり、追いかけてきたり、ちょっと危ない一面もあったが、ゆっくり鹿を見たり、写真を撮る余裕があるところもないわけではない。

まず鮮やかな朱色が目に飛び込んできた。壁は白、格子は緑とそれぞれの色はっきりしているが、実際に見ると、不思議と落ち着いた。またたくさんの灯籠が吊り下げられているのも見所だとよく言われているが、残念ながら昼間の頃に参拝したので幻想的な万灯籠を見えなかった。そして時間が足りないので本殿前までの特別参拝（別途料金がかかるが）ができなくて外側の無料エリアだけ見て帰った。

参拝客はそんなにいなくて、とても静かで、厳かな雰囲気で良かった。石燈籠に苔が生えていたり、屋根を突き破って大きくなっている木があったりと、歴史の長さを感じた。

6/27 東大寺

訪れる少し前に面白く読んだ文章が、奈良の大仏造営に携わる工人の物語だったので、感慨深く見学できた。現代人が見ても驚愕の大きさですが、奈良時代の人々にはどれほどのものだったでしょうかと考えさせられた。昔の人たちの大仏に対する感動、迫力、信仰、ありがたさは今以上に違いないと、拝見しながら想像を膨らましていました。
大仏殿の大きさにも驚いた。大仏殿の入り口にいる人の大きさと、入り口の扉の大きさや、屋根までの高さを比べてみたら、人間が虫けらみたいに小さく見えた。大仏様は見上げて見る感じで、鎌倉の大仏様より大きく見え、圧倒された。また、大仏様の周りには数々の仏像やお土産物とかが並び、ガイドさんのお話を聴きながらより多くの知識を学ぶこともできた。

大仏様の右後ろにある、鼻の穴サイズをくり貫いた柱はとても人気だが、残念なのは柱の通り抜けに対してルールがなく、明らかに通り抜けできなさそうな大人でも無理に挑戦して、大騒ぎで渋滞していた。

そして大仏さまは身体は、風化してザラザラな感じなのに、お顔はツヤツヤしている。大仏さまは奈良時代以後、二度も戦火に焼かれて、胴体は鎌倉時代、お顔は江戸初期に再建されているそうだ。その年代の違いが肌の質感に現れていて、面白かった。





把日文投稿翻译中文的文章

手記「16」

2018.07.08

6/30 宝塚劇場

今日の行程は一つしかない、宝塚劇場だ。朝京都から兵庫県に向かい、10時ぐらい宝塚劇場についた。最終日だからみんなは疲れそうな顔で、歌劇に興味を持っている人が少なさそうだった。だが、学校に帰ってからみんなに聞いてみると、一番良かったと思うことは、宝塚だと返事した人が多かった。

宝塚劇場に入ってみると、急に感じたのは、女性の激しい密集で、9割以上は女性だ。先入観としてチケットが高額かつなかなか取れないというのがあったけれど、団体チケットでS席を買った。熱狂を生む公演がどんなものか、雰囲気が味わえればいいかなと思っていたが、最後素晴らしい演出に引き込まれて、本当に至福の時間になった。

公演が始まると、その完成度に圧倒された。あれだけの人数が動き回って歌いまくったり、衣装も舞台装置も変わったりして、鳥肌がよく立ちっぱなしでした。公演は二部構成になっていて、前半がミュージカルで、後半がショーだ。

ミュージカルは第2次世界大戦前夜のパリを舞台に、過酷な運命の中で懸命に生きる人々の物語、「凱旋門」だ。やはり思い出深い作品の一つなので、いつもの観劇とは違う気持ちで、涙が出てくるレベルだ。轟悠さん演ずるラヴィックは、美しく高貴だった。望海さんのボリス、真彩さんのジョアン二方も華やかで素晴らしいだった。

そして二部、これこそが思い描いた宝塚だった。一条乱れぬ華麗というか、かなりの褒め言葉を使わないと表現できないような見事すぎるショーだった。レビューは猫モチーフで、擬人化した猫を演じる女役の美しさに殺された。最後あたりになると衣装のモサモサ感が強まりトップスターが大きな羽をつけて階段を下ってきた場面は今まで記憶に強く残っている。実際に見てみたら頭に描いた通りの世界、100年以上この公演が続いている理由がわかってきた。

現場は撮影禁止なので、公演の写真はウェブだけで見える。ウェブサイトはこちら：

<http://kageki.hankyu.co.jp/sp/revue/2018/gaisenmon/gallery.html>



把日文投稿翻译中文的文章

「韓」流勉強法を紹介！～第二弾～

2018.07.08

高2になってから日本史の授業が始まり、私は非常に苦労していた。日本史は様々な時代を学習するので混同しやすいし、聞き慣れない単語や書けない漢字が多いし、とにかく留学生にとっては日本で起きた出来事は、身近でない分、そもそもイメージしづらいものだから、日本史との距離を遠くさせてしまった。授業中でほんやりしたり、先生の話が右から左に流したりしまって、そこから自分が日本史への逃げの姿勢を治さなければ、と強く思った。今まで実践してきたいい勉強法のおかげで、期末テストでも大満足の成績を取った。では私の経験を基づいて、今回は皆さんに日本史の勉強法を紹介させていただきましょう！

STEP1：まず初めに、基本となる知識を身につけることが大切！

日本史の勉強で必要なことは、時代ごとの特徴や次の時代へ移ったきっかけなど「歴史の流れ」をきちんと掴むということだ。とにかく教科書を一周読み終わって、色ペンでチェックすることで、自然に頭に入ってきたことはおぼえておく、それくらいの気持ちで一周する。細かなことを覚える勉強は、今後じっくりしていくことになる。歴史の流れをひととおり完成させれば、日本史を暗記する骨組みは出来上がる。テスト勉強をする時に、私はいつも一回教科書を徹底的に読み込んで、何となく頭に入れる単語や流れが記憶に残っており、次の段階で記憶量が減ることにもつながると思っている。

STEP2：歴史の流れをつかんだ後は一気に単語暗記を進めていく。

用語を覚えるということは、用語だけではなく、用語、用語の内容、用語についての年号(ないかもしれない)も一緒に覚えるべきだ。

用語を覚えるためには、一問一答の参考書はおすすめだ。一問一答を3~4周もするなど、「覚える作業」をきちんとやれば、だいたいの用語は頭の中に入っているはずだ。しかし、用語の意味や内容を全く意識せず、ひたすらその用語だけ覚えようとしてしまっている状態に陥ってしまっている。例えば、薬師寺だと、なぜ作ったのか、どの天皇の時期で作ったのか、薬師寺にある有名な仏像は何かあるか、という細かいところまでわかれれば、用語は用語「群」になり、一気に覚えやすくなる。さらに、年号の覚え方といえば、やはり語呂合せで、「794（なくよ）ウゲイス平安京」とか有名だよね～リズムに乗せて頭に定着させよう。

最後になるけれど、暗記は「何度も繰り返すこと」が大事だ。それで用語を「覚える作業」を怠っているひとや用語「だけ」を覚えようとしている人は最後まで頑張りきれない。単語ひとつひとつを覚えようとせず、単語同士が関連しあって、一本の線を作るイメージで勉強していこう。

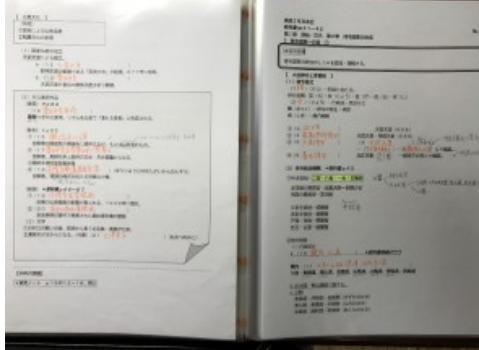
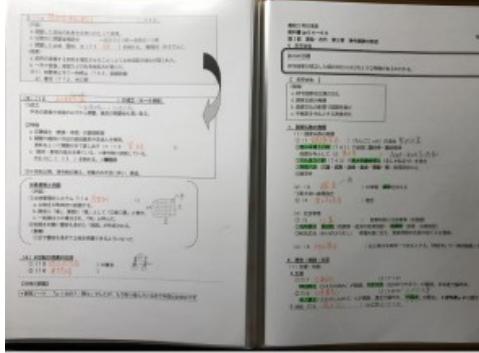
正直、日本史は大嫌いだが、世界史に比べると日本史の方はまあまあよいと思う。なぜかというと、カタカナよりも漢字の方が覚えやすいから。そして中国人だからこそ日本史の単語の読み方を覚えなくても中国語の漢字の読み方で覚えて、そして日本の当用漢字で答いたら点数ももらえるわけだ。(だが、深く考えれば、読み方がわからないと問題だけ解ける。授業中でも先生の質問に答えられない。日本人が歴史の話について喋る時にも理解できないだろう。)それで、漢字で覚えれば点数を取れるわけだが、時間の余裕がある人は是非読み方も一緒に覚えてほしい。

STEP3：自分が作った短文や自分で見つかったロジックとと関連付けて覚える。

私は最初の時、飛鳥文化の伽藍配置が全然覚えられなかった。期末テスト直前まで時間に迫られて、「どうせ覚えたい」という気持ちが強かった。復習する時にじっと伽藍配置の図を見てみたら何となく伽藍配置と時代の関連性を見つけた。「初期の寺院は塔を重視する。それがだんだん金堂を重視するようになっていく。」ということだ。検証してみても、「飛鳥寺は塔を中心にして囲むように金堂を複数配置。法隆寺などは塔と金堂を一つずつ並べる。薬師寺では金堂の周りに塔を二つ配置。東大寺、大安寺では塔がどんどん中央部から離れていく。」ということで全部当てはまる！また、四天王寺の伽藍は唯一の縦で配置されているとか、東大寺の伽藍配置は一番複雑だと...一番印象に残っているのは、薬師寺がうちのクラスの子明日加ちゃんに愛されていて、それで「薬師寺！明日加！」というアイドルを応援する時に使っているミックスのように覚えた。(笑笑)自分でわかる方法で覚えた方がおすすめだ。先生が教えてもらった覚え方はインプットのもので、覚えないといつの知識になれないけれど、自分が作り出した暗記法はとても印象的で一生忘れられないぐらいだと思う。是非この方法でやってみてください！

全く日本史の勉強法と関係ない話だが、ただ自分の浅い考えをみんなと分かち合いたい。

初めて日本史の教科書を使ってみたら、中国の歴史の教科書に比べると、全然感覚が違った。中国の教科書には、多くの事柄が文字で説明され、それに写真が何枚か付いている。日本には教科書があるだけではなく、資料集や便覧もある。資料集には、ほとんど写真で、写真の種類も様々だ。古代人の衣食住を含めた日常生活の様子や作った道具、また古跡について建築や彫像、生徒の興味を引く情報がたっぷりだ。この前奈良時代を勉強していたが、資料集には古代の奈良の地図も掲載されていて、完全に奈良を訪れた観光客向けのガイドブックとしてのレベルだ。生徒がこれらのカラーの写真や図を見ることで旅行ができてしまうだろう。(ちなみに日本史の先生は修学旅行の時に皆が日本史の資料集を持ってほしいという話をしたが、実際に見てみるとやはり迫力が違うと思った笑笑)日本の教科書のように生徒に教科書が面白いものだと思ってほしい。これは確かに中国が学ぶに値する。



■3 齋生文化に関する説明した文として誤っているものを①～④から一つ選べ

- ① この時代の水田は一辺が數m程度で、現在よりも小さな区域に分けられたものが多くつた。
② 前期には水田が多かったが、中・後期になると湿地田/開墾が進めた。
③ 静岡県の登呂遺跡は、後戦切での科学的調査によって解明された集落と水回路の典型的な生態遺産である。
④ 沖縄など南諸島では海生文化は及ばず、漁労・貝類の採取中心の文化が続いた。

④ 穗期：前期：水稻抽穗，遇雨或虫
中期：高粱灌浆期，遇旱
后期：玉米授粉期

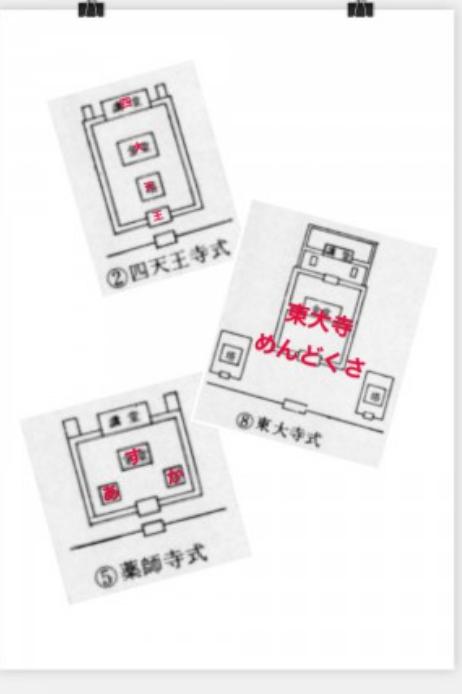
図3 下総郡[a]について、奈良県の郷土遺跡にある面模墨太の古墳の名跡を答えよ

家集子

金匱要略

2380 1938

~~三、要领与易犯错误：（一）操作方法：准确度：每分钟100—120字，准确性：95%以上，操作时间：10—15分钟。~~



把日文投稿翻译中文的文章

前方，单向街——参加心连心项目有感

2018.09.08

北京朝阳区有一家人气书店，叫单向街图书馆。我往北京跑的时候，总会去那里转转。

店员告诉我，单向街这个名字，将时间比喻为空间，在描述一个不停往前延伸，却永远不能转圜的天地铁则。

就是我们，也常常被这个时间这个从不回顾过去的家伙玩弄着。参加心连心项目后，前方也只剩一条路可走；一年过去，再也不能回头。

这一年，吃了不少苦，流过很多泪；同时，它也带给我许多无法复制的美好回忆与欢乐体验。我为自己曾经的决定负责，不后悔、不责备、不苛求、不纠缠，只希望用乐观甚至滑稽的方式重新审视这一年的经历与成长，在大脑皮层里认真地刻下那些值得铭记的，感动与温暖的瞬间。

我的生活，是单向街。

中途转校，我是心连心项目历届之中屈指可数的个例。这份特殊背后的辛酸苦辣，同届的伙伴们未必体会得到；但两个学校、两个截然不同的群体、两种天差地别的生活方式，带给我的是1+1大于2倍的收获。

东京的学艺大国际附中，没有作业、放养式管理、同学对待课堂的随意程度也让我大跌眼镜；但高端的教学设施、完善的课程体系、先进大学模式的课题研究活动、以及视野宽格局广的优秀同龄人，我通过对比、思辨、争论和实践，形成自己的心得见解。我认真参与课题研究，把握规律、求得真谛；我在场场英语辩论中以创新和批判的眼光，不断提升思考和思辨能力；学校的文化祭时我惊异于这群伙伴优秀的才能，下定决心要刻苦磨砺本领，全面发展特长。

鹿儿岛的大口明光学园，一所大山深处的学校，全校六个学年却只有100余名学生。但我在这里却深刻地感受到了前辈对后辈的悉心提携、同侪彼此互帮互助、师生之间教学相长、自由与包容的态度和担当。宿舍生活中接触日本严苛的上下级关系与团体意识，茶道部部活里体悟日本人“一期一会”的精神文化，那些我曾在徐静波先生的《静观日本》一书中领略到的风土人情与社会价值观，成为了我现实生活中的一部，并且潜移默化地影响着我。

我的经历，是单向街。

在东京的时候，我和住家一起参加了市民文化祭、国际马拉松等多次志愿者活动。每一次的活动中，我热情服务，积极与日本人进行沟通，得到了许多暖心的支持与鼓励。我还借力于首都圈交通便利的优势，利用周末时间参观首都圈大学，参与风格各异的大学祭，深度感知各大学风采。

转校到鹿儿岛之后，我参加了鹿儿岛县与全国大会两次日语演讲比赛，有幸和各国的优秀年轻人探讨世界共通话题。我发现很多选手都乐于也善于带着同理心，去理解和分析不同国家和地区的热点问题。此外，外国选手对中国不乏好奇，但也存在误解。作为在场唯一的中国高中生，我不由地产生一种责任感，要去认真倾听他们对中国的认识，尽力为他们澄清一些事实，努力向他们还原真实的中国。我想，最大的误解不是误解本身，而是不曾了解。在这个时代，中国声音需要被世界听到，中国故事需要被分享给更多人。而我也因体会到了公众沟通的力量，而愈发喜欢传播中国声音，讲述中国故事。因此这一年，我积极参与了校内外大量对外交流和公众沟通活动，参加当地举办的国际交流活动，展示中国料理，开办汉语讲堂，收获了许多由衷快乐的时刻。

感谢北京日本交流中心，感谢日中交流中心，感谢中国教育部与日本外交部等多方力量，心连心这一宽广的平台给予了我们广泛学习、大胆尝试的条件，帮助我们发掘自己的热情和优势。也要感谢在日本结识到的老师、同学、寄宿家庭，这份恩情我会永远铭记并在未来努力回报。

最后，与大家共勉。关键时刻的抉择，改变人生方向；轨迹路径的坚守，彰显人生品格。回望这一年的成长，感触最深的是对自己所爱日渐明晰。这一年中一次次对内心的审视和对外界的探索，让我逐渐了解了心之所向，坚定了日本留学的信念并确定了未来就职的方向。

纵有千古，横有八荒。前途似海，来日方长。未来的我，将会以身而往，在人生这条单行道上一路砥砺前行，目标远方。

在最后的碎碎念：

前几日受张岱老师之托提交了这份递交中国教育部的留学报告。遣词造句或有公式套话之嫌，但内容均是基于这一年所思所得而触发的真情实感。且不论对于问题的认识与分析深入与否，我把这篇文章分享出来，是期待这里面能有一份感受与体验能与过去的毕业生们产生共鸣，或能有一份经验或教训可以成为即将开始新旅程的你的参考。

回国已有一个半月有余。我不再是心连心项目进行时中的一员，但我是一位因心连心项目而被深刻影响和改变的毕业生。偶尔翻看手机里的相片，和日本的老师同学用邮件联络时，那些曾经的记忆依然鲜明且生动在脑海里。今天读毕第十三期生大家的日记和下面的评论，也不禁感慨在心连心项目中收获到的珍贵友谊永远是那么美好深长。

另外，要问候中心的所有老师，过去的一年受到了太多温暖的关心与帮助，谢谢老师们！祝身体健康，工作顺利！

最后，也祝福即将启航的心连心第十三期的同学们留学生活充实精彩！如果有疑问或烦恼，也可以随时用微信等社交软件与我们上一届有过相似经历的前辈联系！

愿我们都能与理想主义中的自己在未来热烈相遇！期待再见！

